

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	新たな地域交通の整備					款 05	項 01	目 01	事業 006	整理番号	335
現担当課名	都市整備部管理課					係名 交通企画係	連絡先 電話番号	3515	昨年度 整理番号	346	
上位施策No・施策名	06 誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備					予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和61年度	実行計画事業	分野 02	施策 06	計画事業 01		主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和6年度 担当課名	都市整備部管理課					事業評価区分	一般				

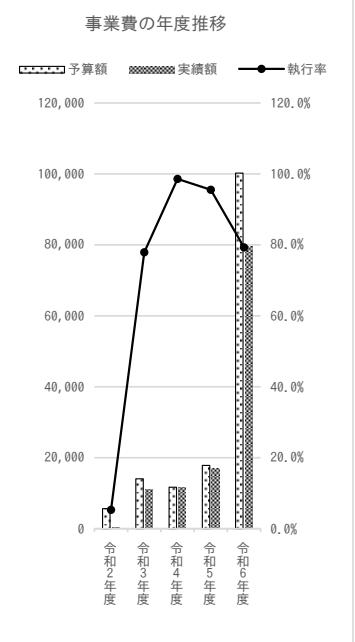
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律 杉並区地域公共交通活性化協議会条例
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	○区民にとって利便性の高い移動環境の創出に向けて、杉並区地域公共交通計画に基づき、誰にとっても移動しやすい地域交通環境を整備する。 ○交通利便性の向上を図り、地域間の交流を促進するため、環状八号線を基本的な導入空間とした区部周辺の環状交通をはじめとした新たな地域交通を整備する。

指標・総事業費 (P l a n · D o)

指標名		指標説明		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	交通関連協議会等開催数	杉並区地域公共交通活性化協議会・AIオンラインマント交通検討部会・エイトライナー促進協議会総会等	回	計画	0	0	5	9
	モビリティ・マネジメントに関連する啓発活動実施回数			実績	4	4	6	-
	交通の便が良いと思う区民の割合			達成率	-	-	120.0%	-
成果指標	分類 区民満足度指標	公共交通の利用促進に向けた普及啓発活動実施回数（すぎ丸の日・小学校等での交通環境学習等）	回	計画	0	0	4	4
	できるだけ徒歩・自転車・公共交通機関を使って移動している区民の割合			実績	0	3	2	-
	分類 区民満足度指標			達成率	-	-	50.0%	-
	分類 区民満足度指標	区民意向調査による	% %	計画	95.2	95.4	94.3	-
	分類 区民満足度指標			実績	93.5	93	93.5	-
	分類 区民満足度指標			達成率	98.2%	97.5%	99.2%	-

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	千円	予算額	5,651	14,059	11,693	17,840	100,230	49,314
		実績額	300	10,953	11,528	17,043	79,468	-
		執行率	5.3%	77.9%	98.6%	95.5%	79.3%	-
人件費	千円	予算額	3,487	5,102	8,343	16,636	16,742	20,534
		実績額	3,826	7,581	11,895	20,928	24,984	-
		執行率	109.7%	148.6%	142.6%	125.8%	149.2%	-
上記以外の職員	千円	予算額	0	0	1,838	1,839	1,523	1,857
		実績額	0	0	1,839	1,904	1,857	-
		執行率	-	-	100.1%	103.5%	121.9%	-
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	9,138	19,161	21,874	36,315	118,495	71,705
		実績額	4,126	18,534	25,262	39,875	106,309	-
		執行率	45.2%	96.7%	115.5%	109.8%	89.7%	-
財源	千円	受益者負担分 ①	0	0	0	0	0	-
		国・都からの補助金 ②	0	0	0	4,900	21,660	42,353
		その他の補助金等 ③	0	0	0	0	-	-
特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	0	0	0	4,900	22,460	42,353
		実績額	0	2,764	3,899	4,938	13,995	-
		執行率	-	-	-	100.8%	64.6%	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	9,138	19,161	21,874	31,415	96,035	29,352
		実績額	4,126	15,770	21,363	34,937	92,314	-
		執行率	45.2%	82.3%	97.7%	111.2%	96.1%	-



特記事項

- 令和5年度から活動指標を変更しています。また、活動指標（2）については令和5年3月に策定された杉並区地域公共交通計画に基づく取組であるため、数値の記載は令和5年度からとなっています。
- グリーンスローモビリティ停留所設置工事費の減額等に伴い、事業費執行率が90%を下回りました。
- グリーンスローモビリティ：時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスで、その車両も含めた総額

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	杉並区地域公共交通活性化協議会等の開催	5	回	337
	杉並区地域公共交通計画推進に関する調査・研究	1	件	5,000
	新たな地域交通システムの調査・研究に関する委託	4	件	45,172
	グリーンスローモビリティの運行	1	路線	26,018
	その他（エイトライナー促進協議会負担金など）			2,941
取組成果	グリーンスローモビリティについては、令和6年11月15日に開通式を行い、同月25日から本格運行を開始しました。また、本格運行開始前には、東京都によるグリーンスローモビリティ自動運転検証走行が同運行経路にて行われており、新たなモビリティの普及・啓発のため町会や関係団体との調整や広報活動などに協力しました。 また、デジタル技術を活用し、一つのサービスとして移動を提供するMaaSの取組においては、AIオンドマンド交通システムを含めた区独自の杉並区産MaaS「ちかくも」を構築しました。「ちかくも」では、堀ノ内・松ノ木地区で令和7年1月8日から実証運行を開始したAIオンドマンド交通の予約・決済機能や、おかげマップなどのコンテンツを具備しており、区民の移動の選択肢拡充に向けた実証実験を行っています。 モビリティ・マネジメントの取組については、「すぎ丸の日」におけるバス利用の促進イベントを阿佐ヶ谷駅前広場で開催したほか、モビリティウイーク2024に参加し、杉並区役所で公共交通の利用促進に関するパネル展示を行いました。			

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	<p>新たなモビリティサービスの取組において、「グリーンスローモビリティ」は5月から約3か月間の実証運行を経て11月から本格運行を開始し、杉並区産MaaS「ちかくも」を活用した「AIオンドマンド交通」は、令和7年1月に実証運行を開始しました。今後は、更なる広報活動により利用者の拡大を目指すとともに、環境負荷の低減、健康増進や地域振興など多面的に事業効果の検証をするほか、効率的な運営となるよう継続的な見直しを実施していく必要があります。</p> <p>南北バス「すぎ丸」については、バス運転士不足の深刻化等により民間路線バスの減便や路線廃止が相次ぐ現状を踏まえ、各運行事業者と協議し補正予算を編成し補助額の見直しを実施し、「すぎ丸」の運行維持に努めました。また、運行の維持・拡充に向けた具体的な検討をするため、新たに南北バスすぎ丸あり方検討部会において、今後の運行ルート・運行方法及び事業形態等について、区民や運行事業者等とともに検討を深め、年度内には取組みの方向性を明確化する必要があります。</p> <p>MaaS: Mobility as a Serviceの略。ICT活用による移動をスマートにつなぐ新たな「移動」の概念又は様々な移動サービスを1つに統合させた新たなモビリティサービス。区では、移動利便性の更なる向上を図るとともに、移動と移動の先にある活動が組み合わさることによる新たな価値の創出に取り組んでいます。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	<p>杉並区産MaaS「ちかくも」については、荻窪地域8か所の区立自転車駐車場の満空情報の表示等の機能拡張を行いました。今年度は区民がより一層使いたくなるデザイン等について検討していきます。</p> <p>グリーンスローモビリティについては、1か月当たり平均2,200人を超える利用がありました（令和7年4月から7月まで）。また、より利便性を高めるため、令和8年4月に予定している荻窪地域区民センターの停留所増設に向けて所轄警察等との調整を進めています。</p> <p>AIオンドマンド交通については、令和7年1月8日の実証運行開始以来、利用者数の増加に向けて地域への周知活動等を積極的に行ってています。今後は、令和8年1月以降の実証運行の実施地域に関して、事業者や住民代表等の意見を聴きつつ検討します。</p> <p>南北バス「すぎ丸」については、「南北バスすぎ丸あり方検討部会」を設置し、令和7年4月から2回の会議を開催しました。</p> <p>予算の執行状況については概ね計画どおりです。</p>
事業の方向性・改善策	地域公共交通活性化協議会、「AIオンドマンド交通検討部会」、「南北バスすぎ丸あり方検討部会」等によって引き続き様々な事業者、区民等の意見を聴きつつ、移動利便性の更なる向上に向けたMaaSの取組、地域公共交通の維持・拡充に向けた取組を行っていきます。

令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	<p>杉並区産MaaS「ちかくも」については、今年度、新たな機能の拡充を行いましたが、令和8年度も同様に、新機能を拡充していきます。</p> <p>グリーンスローモビリティ及びAIオンドマンド交通についても、今年度と同様の事業コストにより新たな利用促進等の取組を行いながら継続運用します。</p> <p>南北バス「すぎ丸」について、「南北バスすぎ丸あり方検討部会」を引き続き運営します。</p>
II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
II. 事業の改善の方向性の理由	<p>杉並区産MaaS「ちかくも」については、地域公共交通の利便性向上、移動手段と移動目的をセットにした案内による区民の外出の促進のための機能拡充により、サービスの向上を図ります。</p> <p>グリーンスローモビリティについては、荻窪駅南側地区のさらなる回遊性向上を目的として、デジタルクーポンなどの商店街連携等について検討します。</p> <p>AIオンドマンド交通については、交通不便地域におけるお出かけを促すための移動手段として、さらなる利便性の向上に向けた取組を行います。</p> <p>南北バス「すぎ丸」については、今後もすぎ丸が持続可能な運行ができるよう、引き続き「南北バスすぎ丸あり方検討部会」において、運行ルートや運行方法、料金等に関する検討を進めます。</p>

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	自転車活用の推進						款 05	項 01	目 01	事業 012	整理番号	338
現担当課名	都市整備部管理課						係名	自転車活用推進係		連絡先	3519	昨年度 整理番号
上位施策No・施策名	06	誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備						予算事業区分	新規事業			
事業開始	令和6年度	実行計画事業		分野	02	施策	06	計画事業	02	主要事業（区政経営報告書掲載事業）		
令和6年度 担当課名							事業評価区分	一般				

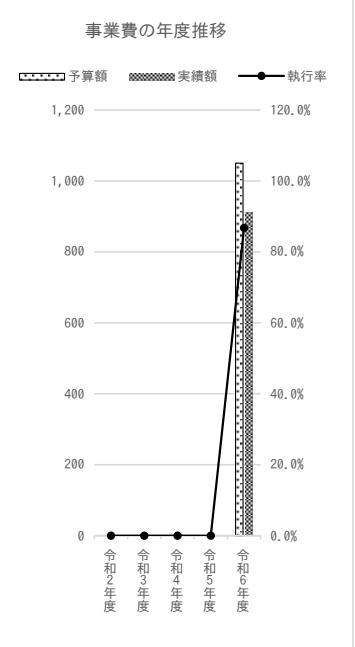
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 自転車活用推進法
区民、事業者及び区職員	
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段） ○自転車フレンドリープロジェクト※を周知・展開する。 ○未就学児向けじてんしゃゲームを区立子供園で実施する。 ○シェアサイクルの活用を推進する。 ○区職員による自転車の業務利用を拡大する。 ○有識者に意見聴取を行い、自転車に関する施策の検討に生かす。 ※自転車を安全・安心に楽しく利用できる環境づくりを目指して、区が展開する取組

指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	未就学児向けじてんしゃゲームの実施回数	区立子供園で実施するじてんしゃゲームの実施回数	回	計画	-	-	7	8
成果指標	公有地のシェアサイクルポート設置数	公有地におけるシェアサイクルポートの累計設置数	か所	計画	-	-	50	55
				実績	-	-	55	-
				達成率	-	-	110.0%	-
成果指標	公有地のシェアサイクル利用回数	公有地におけるシェアサイクルの年間延べ利用回数（4～3月）※シェアサイクル3事業者計	回	計画	-	-	161,569	213,735
				実績	-	124,284	164,412	-
				達成率	-	-	101.8%	-
分類	行政サービス成果指標			計画	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-
	分類			達成率	-	-	-	-

	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	千円	予算額	-	-	-	1,050	849
人件費	常勤職員分 (再任用含)	実績額	-	-	-	911	-
		執行率	-	-	-	86.8%	-
		予算額	-	-	-	-	12,834
人件費	上記以外の職員	実績額	-	-	-	15,401	-
		執行率	-	-	-	-	-
		予算額	-	-	-	-	1,393
総事業費 (事業費+人件費)	千円	実績額	-	-	-	1,393	-
		執行率	-	-	-	-	-
		予算額	-	-	-	1,050	15,076
財源	受益者負担分 ①	実績額	-	-	-	17,705	-
		執行率	-	-	-	-	-
		予算額	-	-	-	-	-
財源	国・都からの補助金 ②	実績額	-	-	-	-	-
		執行率	-	-	-	-	-
		予算額	-	-	-	-	-
財源	その他の補助金等 ③	実績額	-	-	-	-	-
		執行率	-	-	-	-	-
		予算額	-	-	-	-	-
財源	特定財源 (①+②+③)	実績額	-	-	-	-	-
		執行率	-	-	-	-	-
		予算額	-	-	-	1,050	15,076
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	実績額	-	-	-	17,705	-
		執行率	-	-	-	1686.2%	-



特記事項

想定より対象児童数が少なかったため、未就学児向けじてんしゃゲームの実施回数を8回から7回へ減らしました。そのため、執行率が90%を下回っています。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	自転車フレンドリープロジェクトのポスター及び横断幕印刷	1,025	枚	409
	未就学児向けじてんしゃゲーム実施委託	7	回	476
	有識者への意見聴取	2	回	26
	公有地におけるシェアサイクルポートの設置	55	か所	
	その他 (区職員による自転車の業務利用の拡大)			0

取組成果	区立高円寺北子供園及び堀ノ内子供園において、未就学児向けじてんしゃゲームを計7回実施（参加延べ81人）し、遊びを通じて運転スキル等の習得を図りました。自転車を安全・安心に楽しく利用できる環境づくりを目指している自転車フレンドリープロジェクトを周知するため、ポスター及び横断幕を作成し、区立施設や区が管理する防護柵に掲示・設置しました。また、区職員の業務用に電動アシスト自転車を16台導入とともに、民間事業者との協働により、カーゴバイク（荷台付き3輪電動アシスト自転車）を業務で活用する実証実験を行うことで、区職員による自転車の業務利用の拡大を図りました。
------	---

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	令和6年度に新設した事業であり、自転車を安全・安心に利用できる環境づくりを目指して、自転車活用及び自転車の安全利用を共に推進していく必要があります。自転車活用については、自転車の価値・魅力のPR及び自転車フレンドリープロジェクトの認知度向上が課題です。特に、脱炭素化や健康経営の観点から、区内事業者に対して、業務や通勤時に係るクルマから自転車への利用転換を促す必要があります。また、公有地におけるシェアサイクルポートを拡充し、時間、場所、所有の有無を問わず、自転車を利用しやすい環境を整備することが課題です。自転車の安全利用については、これまで区が十分に働きかけられていないかった未就学児や子育て世代を中心として、ペダルのない幼児用2輪遊具を含め自転車利用時の交通安全の確保を図る必要があります。また、自転車が車道の左側を通行しやすくなるよう、自転車ネットワーク路線の拡充やクルマのドライバーを対象とした安全運転の周知が課題です。今後は、区内で発生している自転車関与事故の発生原因等を分析した上で、自転車の安全利用について、より効果的な周知・啓発を行う必要があります。そのほか、杉並区産MaaS「ちかくも」を活用し、シェアサイクル利用時等における区民の利便性の向上を図ることが課題です。
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	区民からの要望を踏まえ、新たに中央図書館へシェアサイクルポートを設置しました。また、5月に区立高井戸子供園と高井戸西子供園において、未就学児向けじてんしゃゲームをそれぞれ2回実施しました。そのほか、令和6年度に引き続き、民間事業者との協働により、カーゴバイク（荷台付き電動アシスト3輪自転車）の新試作車を無償で借り受け荷物の運搬時に利用するなど、区職員による自転車の業務利用の拡大を図りました。予算については、今年度、区内事業者からランニングバイク（ペダルのない幼児用二輪遊具）の寄贈を受け、じてんしゃゲームに活用できるようになったことから、ゲームの実施委託費の一部を縮減できる見込みです。
事業の方向性・改善策	引き続き、杉並区実行計画及び杉並区自転車活用推進計画に基づく取組を着実に実施していきます。また、今後予定している実行計画等の改定に向けて、自転車の更なる魅力発信や効果的な自転車の交通安全啓発など、自転車先進国や他自治体の施策も参考としながら、新たな取組を模索していきます。

令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	杉並区自転車活用推進計画等に基づく取組を実施するために必要となる最低限の予算としているため、事業コストの方向性は現状維持とします。
II. 事業の改善の方向性	現状維持
II. 事業の改善の方向性の理由	基本的に現行どおり杉並区自転車活用推進計画等に基づく事業を実施しますが、限られた予算でより効果を挙げるために工夫できることがないか、民間事業者や警察等とも連携を図りながら、常に事業の改善・見直しを検討していきます。

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	有料制自転車駐車場の運営					款 05	項 02	目 01	事業 003	整理番号	368	
現担当課名	都市整備部管理課					係名	自転車駐車場係		連絡先	3518	昨年度 整理番号	377
上位施策No・施策名	06	誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備					予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成6年度	実行計画事業	分野	02	施策	06	計画事業	03				
令和6年度 担当課名	都市整備部管理課					事業評価区分	一般					

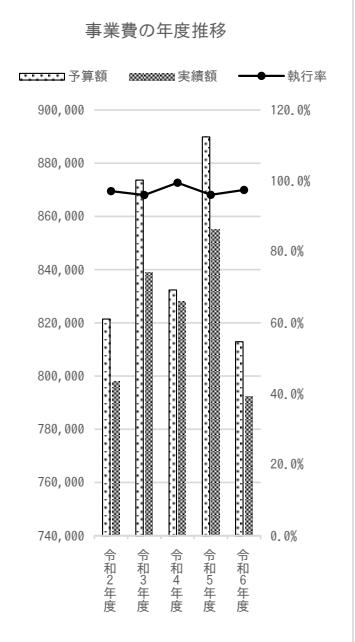
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律 杉並区立自転車駐車場条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段) ○自転車利用者を区立自転車駐車場（有料制自転車駐車場）に誘導、収容し、駅周辺等公共の場所における自転車の放置を防止することで、区民の良好な生活環境の向上に資する。 ○自転車駐車場の受付案内、自転車整理等の管理業務や警備を業務委託して、有料制自転車駐車場を運営する。 ○有料制自転車駐車場の施設・設備の保守等、維持管理を行う。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

指標名		指標説明		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	区立自転車駐車場収容台数	年度末日現在の数値。自転車のみの収容台数で、自動二輪車は含まない。	台	計画	25,835	25,500	21,222	21,339
				実績	25,746	25,440	21,179	-
				達成率	99.7%	99.8%	99.8%	-
成果指標	区立自転車駐車場利用率	平日の晴天日における年間駐車台数÷収容可能台数。自転車のみの利用率で、自動二輪車は含まない。	%	計画	80	80	80	80
				実績	64	68	68	-
				達成率	80.0%	85.0%	85.0%	-
分類	自転車放置率	放置自転車台数÷駅乗入れ自転車台数	%	計画	3	3	3	3
				実績	3.7	3.3	3.3	-
				達成率	123.3%	110.0%	110.0%	-
分類	行政サービス成果指標			計画	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-
				達成率	-	-	-	-

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	千円	予算額	821,425	873,662	832,353	889,876	812,898	958,034
		実績額	797,829	838,864	828,073	855,028	792,244	-
		執行率	97.1%	96.0%	99.5%	96.1%	97.5%	-
人件費	千円	予算額	37,598	41,700	36,190	37,431	42,692	51,336
		実績額	37,922	43,353	37,593	41,939	47,828	-
		執行率	100.9%	104.0%	103.9%	112.0%	112.0%	-
上記以外の職員	千円	予算額	2,464	2,902	2,940	0	0	0
		実績額	2,902	2,940	2,942	0	0	-
		執行率	117.8%	101.3%	100.1%	-	-	-
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	861,487	918,264	871,483	927,307	855,590	1,009,370
		実績額	838,653	885,157	868,608	896,967	840,072	-
		執行率	97.3%	96.4%	99.7%	96.7%	98.2%	-
財源	千円	受益者負担分 ①	652,066	555,684	589,653	0	0	0
		国・都からの 補助金 ②	506,001	537,635	569,007	0	0	-
		その他の 補助金等 ③	4,906	0	0	0	0	-
特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	656,972	555,684	589,653	0	0	0
		実績額	510,907	537,635	569,007	0	0	-
		執行率	77.8%	96.8%	96.5%	-	-	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	204,515	362,580	281,830	927,307	855,590	1,009,370
		実績額	327,746	347,522	299,601	896,967	840,072	-
		執行率	160.3%	95.8%	106.3%	96.7%	98.2%	-



特記事項

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	自転車駐車場の運営・警備業務委託	44	か所	422,383
	自転車駐車場の用地・施設の賃借	22	か所	247,462
	自転車駐車場の維持補修委託（設備保守点検、建物総合保守点検等）	44	か所	36,164
	光熱水費の支出	44	か所	25,446
	その他（機器の賃借、消耗品購入ほか）)	60,789

取組成果	自転車駐車場の受付案内、自転車整理等の管理業務及び警備の業務委託や、施設の維持補修及び設備点検など、44か所の有料制自転車駐車場の管理運営を行いました。また、自転車駐車場の管理・運営について、現状の課題を整理した上で、最適な管理・運営方法の実現に向けた調査・検討を行い、キャッシュレス決済や定期の電子申請等のDX化に迅速に対応できる指定管理者制度の導入の検討も行いました。
------	--

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	自転車駐車場の利便性向上のため、使用料のキャッシュレス化・定期の電子申請・満空情報の提供などが喫緊の課題となっており、課題解決に向けて指定管理者制度を導入し、効果検証する必要があります。また、自転車駐車場で施設の老朽化が進んでおり、施設の維持管理や更新を計画的に行っていく必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	自転車駐車場の管理・運営では、一部の区立自転車駐車場において指定管理者制度を導入するため、杉並区自転車駐車場条例の一部を改正しました。8月に指定管理者候補者の公募を行い、12月に指定管理者を決定する予定です。指定管理者制度での管理・運営は令和8年4月1日からの開始を予定しており、キャッシュレス決済や定期の電子申請等のDX化を行います。 また、直営で管理を行っている区立自転車駐車場においてもキャッシュレス決済を進め、令和7年度中に1か所キャッシュレス決済を導入する予定です。 自転車駐車場に係る経費については、概ね予算執行計画通りに執行できる見込みです。
事業の方向性・改善策	自転車駐車場については、令和8年度から一部の区立自転車駐車場で指定管理者制度を導入することで、効率的かつ効率的に管理・運営を行い、利用者の利便性を向上します。導入後は指定管理者制度の効果検証等を行い、指定管理期間終了後の令和13年度以降における、放置自転車対策も含めた区内全域の駐車場の管理・運営のあり方について検討します。なお、従来の直営方式の駐車場におけるキャッシュレス決済等のDX化についても、併せて検討していきます。

令和8年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	拡充
I. 事業コストの方向性の理由	一部の区立自転車駐車場で指定管理者制度を導入し、キャッシュレス決済や定期の電子申請等のDX化を行うため、それに係る費用が増加します。直営で管理を行っている区立自転車駐車場においてもキャッシュレス決済を導入するため、これに係る費用を計上する予定です。
II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
II. 事業の改善の方向性の理由	指定管理者制度を実施し、指定管理者制度の効果検証等を行います。従来の直営方式の駐車場におけるキャッシュレス決済等のDX化についても、併せて検討していきます。

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	放置自転車対策の推進					款 05	項 02	目 01	事業 004	整理番号	369	
現担当課名	都市整備部管理課					係名	自転車駐車場係		連絡先	3518	昨年度 整理番号	378
上位施策No・施策名	06	誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備					予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和60年度	実行計画事業	分野	02	施策	06	計画事業	03				
令和6年度 担当課名	都市整備部管理課					事業評価区分	一般					

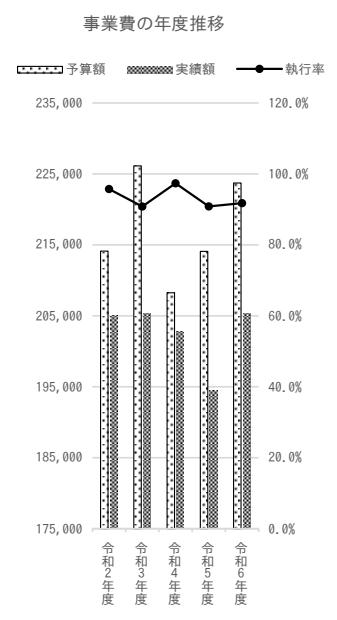
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段) ○放置禁止区域内を中心として、放置自転車の撤去、返還及び処分を行う。 ○放置禁止区域内での路面ステッカーの貼付及び放置禁止区域表示看板等の設置・修理を行う。 ○町会・自治会の会員等を自転車放置防止協力員として依頼し、放置防止活動を行う。 ○駅前放置自転車クリーンキャンペーンを行う。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

	指標名	指標説明	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
活動指標	撤去台数		台	計画	3,900	8,029	8,000	8,000		
				実績	8,452	8,424	8,123	-		
				達成率	216.7%	104.9%	101.5%	-		
				計画	-	-	-	-		
				実績	-	-	-	-		
				達成率	-	-	-	-		
成果指標	自転車放置率	放置自転車台数÷駅乗入れ自転車台数	%	計画	3	3	3	3		
				実績	3.7	3.3	3.3	-		
				達成率	123.3%	110.0%	110.0%	-		
				計画	800	800	800	800		
				実績	921	863	854	-		
				達成率	115.1%	107.9%	106.8%	-		
分類 行政サービス成果指標		放置禁止区域内の放置台数						台		
分類 行政サービス成果指標										

	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
事業費	千円	予算額	214,120	226,131	208,248	214,083	223,720	254,336
		実績額	205,014	205,356	202,750	194,473	205,292	-
		執行率	95.7%	90.8%	97.4%	90.8%	91.8%	-
人件費	千円	予算額	45,583	50,630	56,169	42,412	20,633	23,945
		実績額	45,594	52,471	58,212	47,062	23,020	-
		執行率	100.0%	103.6%	103.6%	111.0%	111.6%	-
上記以外の職員	千円	予算額	616	726	735	0	0	0
		実績額	726	735	736	0	0	-
		執行率	117.9%	101.2%	100.1%	-	-	-
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	260,319	277,487	265,152	256,495	244,353	278,281
		実績額	251,334	258,562	261,698	241,535	228,312	-
		執行率	96.5%	93.2%	98.7%	94.2%	93.4%	-
財源	千円	受益者負担分 ①	35,580	20,950	19,500	24,150	24,950	25,350
		実績額	22,160	20,580	22,690	23,630	23,470	-
		執行率	62.3%	98.2%	116.4%	97.8%	94.1%	-
国・都からの 補助金 ②	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
その他の 補助金等 ③	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	35,580	20,950	19,500	24,150	24,950	25,350
		実績額	22,160	20,580	22,690	23,630	23,470	-
		執行率	62.3%	98.2%	116.4%	97.8%	94.1%	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	224,739	256,537	245,652	232,345	219,403	252,931
		実績額	229,174	237,982	239,008	217,905	204,842	-
		執行率	102.0%	92.8%	97.3%	93.8%	93.4%	-



特記事項

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	放置自転車の撤去業務管理、撤去自転車の返還業務管理			101,953
	放置防止指導・撤去・返還に関する業務委託	4	件	91,809
	自転車の放置防止啓発業務			11,277
	自転車防止協力員の活動	302	人	253
	その他 ()			0

取組成果	自転車の放置防止啓発活動や自転車駐車場への誘導業務を行ったほか、自転車放置防止協力員の活動等により駅周辺の放置自転車の減少に取り組みました。また、歩行者等の通行の妨げとなっていた放置自転車を8,123台撤去しました。これらの取組により、1日当たり平均の放置自転車台数は前年度の863台と比較して、令和6年度は854台へと約1.0%減少しました。
------	--

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	区はこれまで、放置自転車への対策を目的に、駅周辺等における放置自転車を撤去するとともに、自転車駐車場を整備してきました。その結果として、放置自転車の数を平成11年度のピーク時と比較して約10分の1まで減少させました。直近5年間(令和2年から令和6年度)の平均放置自転車台数は、1日あたり約860台であり、横ばいで推移しています。 放置自転車台数が横ばいで推移する主な原因としては、現在、通勤・通学者の自転車放置はほぼ無くなりましたが、買い物等の所用での短時間放置が常態化していることが挙げられます。そのため、引き続き放置自転車を未然に防止するための指導・啓発等に取り組んでいきますが、商店街や店舗近くへの駐車需要に対して、必ずしも停めやすい環境が十分整っていないことが課題となっています。
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	本事業の予算執行は概ね予定通りに執行しています。本年10月に放置自転車管理システム入替があり、それに向けた作業は順調に進んでいるところです。 放置自転車対策業務においては、撤去移送業務に使用する移送車両を一般貨物自動車運送事業等許可を受けたものに見直しを行つことや、高井戸集積所閉鎖に伴い集積所の収容対象駅の再編を行う等、より効果的・効率的な委託方法を検討します。 放置自転車対策に係る経費については、高井戸集積所閉鎖に伴い不用額が発生しますが、その他は概ね予算執行計画通りに執行できる見込みです。
事業の方向性・改善策	通勤・通学者の自転車の放置は大幅に減少しています。今後は、買い物客等による短時間の放置が多い場所に重点を置き、啓発・撤去業務を行っていきます。また、このような場所では一定規模の自転車駐車場の確保は困難であることから、小規模点在型の駐車スペースの確保に向け、空き店舗利用等、民間設置による自転車駐車場の整備を促進していきます。

令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	放置自転車対策業務は、撤去規模に応じた効果的・効率的な方法に見直しを行いますが、昨今的人件費上昇や物価高騰の影響を受けることから現状維持とします。
II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)
II. 事業の改善の方向性の理由	買い物客等の短時間での放置が多い場所に重点を置き、現状の撤去規模に見合った車両の台数や大きさの適正化等を図り、効率的かつ効果的に啓発・撤去業務を行っていきます。

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	自転車等駐車対策協議会の運営					款 05	項 02	目 01	事業 005	整理番号	370	
現担当課名	都市整備部管理課					係名	自転車駐車場係		連絡先	3518	昨年度 整理番号	379
上位施策No・施策名	06	誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備					予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成7年度		分野	02	施策	06	計画事業					
令和6年度 担当課名	都市整備部管理課					事業評価区分	一般					

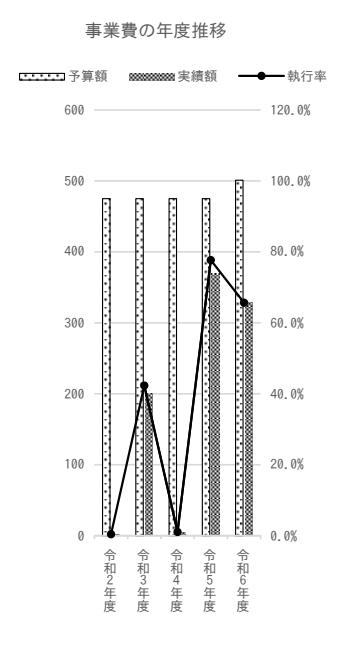
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段) ○自転車等の駐車対策に関する重要事項を調査審議し、自転車対策に関する施策に反映させることで、自転車等の利用者の安全と利便性の向上を図る。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
協議会開催回数			回	2	2	2	2	-	-	-	-
				0	0	2	2	2	2	-	-
				達成率	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
自転車駐車場の利用に不満を持っている方の割合	普段利用する駅周辺に不満を感じている区民のうち、「自転車駐車場が利用しづらい」を選択した区民の割合	%		3	3	16	16	-	-	-	-
分類 区民満足度指標				計画	3	3	16	16	-	-	-
				実績	3.7	3.3	16.7	-	-	-	-
				達成率	123.3%	110.0%	104.4%	-	-	-	-
分類				計画	-	-	-	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-	-	-	-
				達成率	-	-	-	-	-	-	-

事業費	人件費	財源	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
			千円	予算額	475	475	475	501	589
			千円	実績額	2	201	5	369	329
常勤職員分(再任用含)	上記以外の職員		千円	執行率	0.4%	42.3%	1.1%	77.7%	65.7%
			千円	予算額	3,093	2,683	3,833	4,159	2,511
			千円	実績額	3,127	2,744	3,825	5,023	2,823
総事業費(事業費+人件費)			千円	執行率	101.1%	102.3%	99.8%	120.8%	112.4%
			千円	予算額	0	0	0	0	0
			千円	実績額	0	0	0	0	0
受益者負担分①	国・都からの補助金②	その他の補助金等③	千円	執行率	-	-	-	-	-
			千円	予算額	0	0	0	0	0
			千円	実績額	0	0	0	0	0
特定財源(①+②+③)			千円	執行率	-	-	-	-	-
			千円	予算額	0	0	0	0	0
			千円	実績額	0	0	0	0	0
差引：一般財源(総事業費-特定財源)			千円	執行率	87.7%	93.3%	88.9%	116.4%	104.6%
			千円	予算額	3,568	3,158	4,308	4,634	3,012
			千円	実績額	3,129	2,945	3,830	5,392	3,152
			千円	執行率	87.7%	93.3%	88.9%	116.4%	104.6%



特記事項

協議会運営費として、全委員出席の想定で予算計上していたところ、欠席の委員がいたため、委員報酬の支出が減少し、執行率が低くなっています。
成果指標についてはこれまで、自転車放置率を採用していましたが、令和6年度からは自転車等駐車対策協議会の意見を聴いて令和5年度に策定した「杉並区自転車活用推進計画」の指標にある、区民意向調査「自転車駐車場が利用しづらい」を選択する区民の割合に変更しました。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	委員報酬	2	回	233
	謝礼金	2	回	18
	筆耕翻訳料	2	回	64
	郵券の購入			14
	その他 ()			0

取組成果	協議会を予定通り2回開催し、杉並区自転車活用推進計画の取組の報告や区立自転車駐車場の管理運営について説明を行いました。
------	---

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	放置自転車台数は、協議会の意見を踏まえて策定した自転車利用総合計画に基づく取組等により、即時撤去が可能となった平成5年改正自転車法施行前の平成4年度の11,946台から令和6年度は約10分の1以下の854台となり、大きな成果を上げています。これまで自転車駐車場を整備してきたことにより、通勤・通学者の自転車利用者は、自転車駐車場を利用するところが定着してきましたが、近年では、買い物などによる短時間利用の放置自転車が課題です。区では、令和6年2月に「自転車活用推進計画」を策定しており、協議会では今までの自転車の「対策」だけでなく、「活用」の視点からも調査審議する必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	協議会は令和7年度も計画通り2回開催する予定です。今年度1回目は、「区立自転車駐車場のリ・デザイン方針について」等を報告案件とし、5月19日に開催しました。2回目は1月27日に開催を予定しています。協議会に係る経費については、概ね計画通りに執行できる見込みです。
事業の方向性・改善策	引き続き、放置防止啓発活動や撤去活動を着実に実施し、自転車等の駐車に関する課題解決のため、協議会において検討をしていきます。また、自転車の「活用」についても情報の共有を図り、調査審議することを検討していきます。

令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	縮小
I. 事業コストの方向性の理由	令和8年度は、協議会で調査審議する議題を現時点で想定していないため、前年度の事業報告として1回開催する予定です。
II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)
II. 事業の改善の方向性の理由	区では、令和6年2月に「自転車活用推進計画」を策定しており、協議会では今までの自転車等の駐車に関する「対策」だけでなく、自転車等の「活用」の視点からも調査審議することを検討していきます。

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	自転車駐車場等整備					款 05	項 02	目 01	事業 006	整理番号	371	
現担当課名	都市整備部管理課					係名	自転車駐車場係		連絡先	3518	昨年度 整理番号	380
上位施策No・施策名	06	誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備					予算事業区分	投資事業				
事業開始	昭和60年度	実行計画事業	分野	02	施策	06	計画事業	03				
令和6年度 担当課名	都市整備部管理課					事業評価区分	一般					

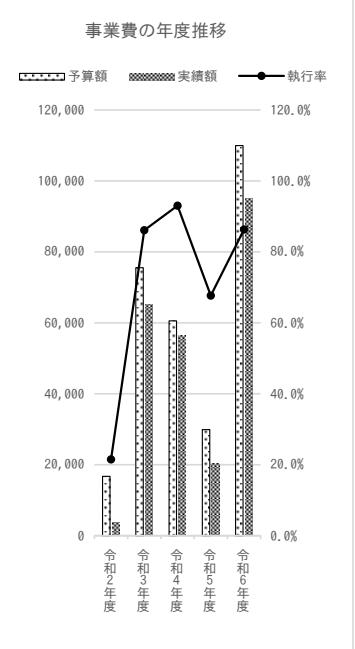
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段） ○自転車駐車場を整備し、自転車の放置を防止することで、良好な生活環境を整える。また、放置自転車の問題が顕著な駅周辺においては、民営駐車場の建設を促進する。 ○自転車駐車場用地を確保し、整備を行う。 ○新たに民営（自転車・バイク）駐車場を設置する者に対し、その建設費や運営経費（バイクは除く）の一部を補助する。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

指標名		指標説明		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
活動指標	自転車駐車場等の整備台数	有料制自転車駐車場、自転車置場等の整備台数		台	計画	26,345	26,010	21,732	21,849
					実績	26,256	25,950	21,689	-
					達成率	99.7%	99.8%	99.8%	-
成果指標	民営自転車駐車場への建設費補助整備台数（累計）			台	計画	2,585	2,585	2,603	2,661
					実績	2,513	2,513	2,571	-
					達成率	97.2%	97.2%	98.8%	-
分類	放置自転車台数（1日平均）	放置禁止区域内の放置台数		台	計画	800	800	800	800
					実績	921	863	854	-
					達成率	115.1%	107.9%	106.8%	-
分類	行政サービス成果指標				計画	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成率	-	-	-	-

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	千円	予算額	16,731	75,535	60,555	29,901	109,963	55,551
		実績額	3,598	65,039	56,330	20,237	94,915	-
		執行率	21.5%	86.1%	93.0%	67.7%	86.3%	-
人件費	千円	予算額	3,065	4,743	5,502	4,159	7,585	11,111
		実績額	5,168	4,918	5,655	4,688	8,253	-
		執行率	168.6%	103.7%	102.8%	112.7%	108.8%	-
上記以外の職員	千円	予算額	0	0	0	0	0	4,643
		実績額	0	0	0	0	4,643	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	19,796	80,278	66,057	34,060	117,548	71,305
		実績額	8,766	69,957	61,985	24,925	107,811	-
		執行率	44.3%	87.1%	93.8%	73.2%	91.7%	-
財源	千円	受益者負担分 ①	0	0	0	0	0	0
		国・都からの 補助金 ②	0	0	0	0	0	0
		その他の 補助金等 ③	0	0	0	0	0	0
特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	5,000	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	19,796	80,278	66,057	34,060	117,548	71,305
		実績額	8,766	64,957	61,985	24,925	107,811	-
		執行率	44.3%	80.9%	93.8%	73.2%	91.7%	-



特記事項

令和6年度は、職員会館解体工事を執行したため、令和5年度と比べ事業費が増加しています。職員会館跡地には、令和7年度に（仮称）杉並区立南阿佐ヶ谷第四自転車駐車場の整備を予定しています。執行率90%未満の理由としては、職員会館解体工事設計差金等が挙げられます。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	民営自転車駐車場育成補助（管理費・建設費）	3	か所	1,959
	職員会館解体	1	か所	92,956
	その他 ()			0

取組成果	民営自転車駐車場育成事業は、1駅1か所（東高円寺駅付近）の建設費補助を行い、2駅2か所（阿佐ヶ谷駅、久我山駅）の管理費補助を行いました。また、（仮称）杉並区立南阿佐ヶ谷第四自転車駐車場の整備に向けた職員会館解体工事を執行しました。
------	---

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	大型自転車（子ども乗せ自転車）等の普及により、従来の駐輪ラックの幅では十分に対応することが困難になっていることや、使用料の支払いが現金のみで、区民要望の多いキャッシュレス決済に対応していないなど、利用者の要望や需要に対応していく必要があります。また、令和5年度に策定した杉並区自転車活用推進計画に基づき、自転車をより駐車しやすい環境を整備するため、民間事業者の協力を得ながら、小規模点在型の駐車スペースの確保に向け、取り組む必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	民営自転車駐車場育成補助事業は、7月末時点で管理費補助1件の交付申請を受理しています。区立自転車駐車場については、（仮称）南阿佐ヶ谷第四自転車駐車場を12月末に完成できるよう、工事発注に向けた準備を進めています。自転車駐車場等整備に係る経費について、（仮称）南阿佐ヶ谷第四自転車駐車場整備工事では、機器の設置を指定管理者の提案により指定管理者が行うこととしたため、不用額が発生する見込みです。また、民営自転車駐車場の建設補助についても7月末時点で申請がないため、予算が一部未執行となる可能性があります。
事業の方向性・改善策	民営自転車駐車場の整備は、駅周辺における収容台数の確保や買い物客等の短時間利用者に有効なことから、より利用しやすい補助制度となるよう民営自転車駐車場育成補助金の交付要綱の見直しを検討するとともに、制度の普及啓発を図ります。自転車駐車場の整備については、直営方式の駐車場におけるキャッシュレス決済等のDX化について検討していきます。

令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	縮小
I. 事業コストの方向性の理由	来年度は区立自転車駐車場の新設整備を予定していないため、費用は縮小しますが、直営方式の駐車場におけるキャッシュレス決済等のDX化について検討していきます。
II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
II. 事業の改善の方向性の理由	杉並区自転車活用推進計画に基づき、民間事業者との協働による小規模点在型の自転車駐車場の確保や、民営自転車駐車場の動向を注視しつつ、引き続き鉄道事業者との連携や、民間事業者への区の補助金を活用した自転車駐車場の整備を働きかけていきます。

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	街路灯の維持補修					款 05	項 03	目 04	事業 001	整理番号	394
現担当課名	杉並土木事務所			係名	街路灯係			連絡先	4636	昨年度 整理番号	403
上位施策No・施策名	06	誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備					予算事業区分	既定事業			
事業開始	昭和35年度		分野	02	施策	06	計画事業				
令和6年度 担当課名	杉並土木事務所					事業評価区分	一般				

令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

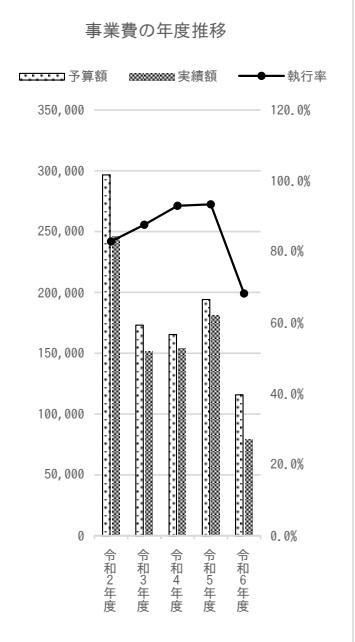
対象	根拠法令等 地方自治法第281条の2第2項 道路法第16条、第42条
区道利用者	

事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)
○区道において既設街路灯を適正な状態に維持管理することにより、区道の安全性を維持する。	○故障や破損した街路灯を修理する。 ○老朽化した街路灯を塗装する。 ○街路灯の電気料金を支払う。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

指標名		指標説明		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
活動指標	街路灯管理数	街路灯の年間管理灯数		件	計画	25,496	25,499	25,525	25,546
					実績	25,469	25,495	25,516	-
					達成率	99.9%	100.0%	100.0%	-
成果指標	街路灯修理件数	街路灯の年間修理件数		件	計画	1,020	1,020	385	510
					実績	516	402	526	-
					達成率	50.6%	39.4%	136.6%	-
分類	街路灯修理率	年間で修理が発生した街路灯の割合 街路灯修理件数 ÷ 街路灯管理灯数 × 100		%	計画	4	4	2	2
					実績	2	2	2	-
					達成率	50.0%	50.0%	100.0%	-
分類	行政サービス成果指標				計画	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成率	-	-	-	-

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	千円	予算額	296,601	173,108	165,365	194,157	115,817	132,350
		実績額	246,016	151,731	153,777	181,343	79,067	-
		執行率	82.9%	87.7%	93.0%	93.4%	68.3%	-
人件費	千円	予算額	14,587	12,573	12,242	13,388	0	11,465
		実績額	16,399	12,326	12,140	13,779	11,270	-
		執行率	112.4%	98.0%	99.2%	102.9%	-	-
上記以外の職員	千円	予算額	924	1,814	1,838	1,839	0	3,111
		実績額	1,814	1,838	1,839	1,904	1,300	-
		執行率	196.3%	101.3%	100.1%	103.5%	-	-
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	312,112	187,495	179,445	209,384	115,817	146,926
		実績額	264,229	165,895	167,756	197,026	91,637	-
		執行率	84.7%	88.5%	93.5%	94.1%	79.1%	-
財源	千円	受益者負担分 ①	0	0	0	0	0	-
		国・都からの 補助金 ②	0	0	0	0	0	-
		その他の 補助金等 ③	0	0	0	0	0	-
特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	0	0	0	0	0	-
		実績額	0	0	0	0	-	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	312,112	187,495	179,445	209,384	115,817	146,926
		実績額	264,229	165,895	167,756	197,026	91,637	-
		執行率	84.7%	88.5%	93.5%	94.1%	79.1%	-



特記事項

事業費はLED化が進展したことにより、蛍光ランプや水銀ランプの一斉取替の対象がなくなったため、縮減となりました。
執行率については、東京電力へ支払う電気料金の決定方法が、協議により金額を決定する方法から、実績値を基本とする算定方法へと変更となつたため、低くなりました。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	街路灯の故障修理委託	526	件	12,349
	電気料金の支出	25,516	灯	46,790
	その他（ ポール等の塗装、破損修理)	19,928		

取組成果	既設街路灯の予防保全として、ポール等の塗装を233基行いました。蛍光ランプと水銀ランプの一斉取替はLED器具の設置が進んだため、令和6年度は実施する必要がなくなりました。また、事後保全として故障修理、破損修理を行い、年間を通じて街路灯の維持保全に取り組みました。
------	---

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	区道街路灯のLED化率は約99%であり、引き続き省エネで長寿命なLED器具への改修を進めて参ります。また、街路灯の故障は夜間の区道の安全性に影響を与えるため、区民からの通報連絡等に速やかに対応し、今後も街路灯の維持補修に努めていく必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	故障や破損した街路灯の修理や、職員の日常巡回により事故の未然防止に取り組みました。また、既設街路灯の維持補修として、年度末までにポール等の塗装を行います。予算執行状況については、概ね予定通りに推移しており、年度末に向けて予算額の計画的な執行を見込んでいます。
事業の方向性・改善策	街路灯の故障については、LEDが長寿命であることから故障件数は減少が期待されるものの、初期に設置されたLED器具の故障発生や外的要因による破損については予測できない面があります。今後は、故障等の原因を調査し、他自治体の事例等を参考にしながら速やかな対応に努めます。

令和8年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	縮小
I. 事業コストの方向性の理由	長寿命なLED器具への改修が進んでいることから、故障修理は減少が見込まれます。一方、破損修理やポール等の塗装については、今後の街路灯維持のために引き続き対応していく必要があります。
II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
II. 事業の改善の方向性の理由	今後は、初期に設置されたLED器具の故障発生や外的要因による破損修理が増加することが予想されるため、故障等の原因を調査し、他自治体の事例等を参考にしながら速やかな対応に努めます。

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	街路灯の新設・改修				款 05	項 03	目 04	事業 002	整理番号	395			
現担当課名	杉並土木事務所				係名 街路灯係	連絡先 電話番号		4636	昨年度 整理番号	404			
上位施策No・施策名	06	誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備				予算事業区分		投資事業					
事業開始	昭和35年度	実行計画事業	分野 02	施策 06	計画事業 05								
令和6年度 担当課名	杉並土木事務所				事業評価区分		一般						

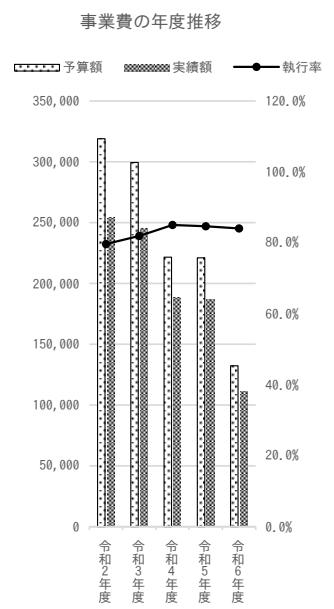
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 地方自治法第281条の2第2項 道路法第16条、第42条
区道利用者	
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○区道において街路灯の新設と既設街路灯の改修を行うことにより、区道の安全性を向上させる。	○区民からの要望を受け職員による現地確認を実施し、必要な箇所に街路灯を新設する。 ○既設街路灯をCO ₂ 排出量が少なく、長寿命で高効率なLED街路灯へ改修する。

指標、總事業費 (P l a n · D o)

指標名		指標説明	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	街路灯新設数	街路灯の年間新設灯数	灯	計画	30	30	30
				実績	14	22	40
				達成率	46.7%	73.3%	133.3%
成果指標	街路灯改修数	街路灯のLED照明への年間改修灯数	灯	計画	1,040	1,040	495
				実績	1,570	954	496
				達成率	151.0%	91.7%	100.2%
成果指標	交通の安全性が良いと感じている区民の割合	区民意向調査による【上昇を目指す】	%	計画	0	0	0
				実績	21.7	22.7	21.6
				達成率	-	-	-
分類	区民満足度指標	LED街路灯数÷街路灯管理数値×100	%	計画	89.4	96.5	98.6
	街路灯LED化率			実績	92.5	96.8	98.7
				達成率	103.5%	100.3%	100.1%
分類	行政サービス成果指標			計画	89.4	96.5	98.6
				実績	92.5	96.8	98.7

単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
事業費	千円	予算額	318,966	299,411	221,578	221,044	132,296	106,960
		実績額	254,145	245,383	188,440	187,184	111,216	-
		執行率	79.7%	82.0%	85.0%	84.7%	84.1%	-
人件費	千円	予算額	16,082	19,970	15,580	14,885	0	9,240
		実績額	17,419	19,501	15,467	15,286	12,929	-
		執行率	108.3%	97.7%	99.3%	102.7%	-	-
上記以外の職員	千円	予算額	616	0	0	0	0	2,507
		実績額	0	0	0	0	1,486	-
		執行率	0.0%	-	-	-	-	-
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	335,664	319,381	237,158	235,929	132,296	118,707
		実績額	271,564	264,884	203,907	202,470	125,631	-
		執行率	80.9%	82.9%	86.0%	85.8%	95.0%	-
財源	受益者負担分 ①	予算額	0	0	0	0	0	-
		実績額	0	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
財源	国・都からの補助金 ②	予算額	0	0	0	0	0	-
		実績額	0	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
財源	その他の補助金等 ③	予算額	0	0	0	0	0	-
		実績額	0	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
財源	特定財源 (①+②+③)	予算額	0	0	0	0	0	-
		実績額	0	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
財源	差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	予算額	335,664	319,381	237,158	235,929	132,296	118,707
		実績額	271,564	264,884	203,907	202,470	125,631	-
		執行率	80.9%	82.9%	86.0%	85.8%	95.0%	-



特記事項

事業費は小型水銀灯のLED化が完了したことなどにより、LED化対象数を見直したため、縮減となりました。執行率は街路灯器具改修工事の予定額と落札額に差があり、工事請負費に執行残が生じたため、低くなりました。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	街路灯の新設	40	灯	9,449
	街路灯の改修	496	灯	101,767
	その他 ()			0

取組成果	街路灯の新設については、区民からの要望等に基づき35灯、区道新設に基づき5灯の街路灯を新設しました。街路灯の改修については、496灯の既設街路灯をLED化しました。その結果、LED化率は98.7%となりました。
------	---

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	街路灯の新設については、区道の全路線で概ね設置が完了していますが、共架電柱の移設などによる間隔不均衡に対し、設置基準に照らし合わせ、必要と判断される街路灯を新設していく必要があります。これにより、更なる区道の交通の安全性向上を図っていきます。 街路灯の改修については、LED化が概ね計画どおりに進展しています。引き続き令和8年度の100%完了に向け、改修工事を進めて参ります。また今後はLED化初期の器具における経年劣化による故障に備え、計画的な器具更新を検討していく必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	街路灯の新設灯数については、8月末までに年間計画数の約4割が完了しています。また年度末までに、概ね計画数の新設を見込んでいます。 街路灯の改修灯数については、前期・後期の発注工事で概ね計画数の改修を実施できる見込みとなっています。 予算執行状況については、街路灯の新設および改修とともに概ね計画通り推移しており、年度末に向けて計画している予算額の執行を見込んでいます。
事業の方向性・改善策	街路灯の新設については、電柱共架による間隔は正対応のほか、商店街の装飾灯撤去による新設要望の増加が見込まれます。区道の照度を維持し安全性を確保するためにも、必要な箇所へ新設を行います。 街路灯の改修については、各現場に応じた適切な対応を行いつつ、LED街路灯への改修を進めていきます。

令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	縮小
I. 事業コストの方向性の理由	街路灯の新設は、区民要望のほか電柱移設による新設や商店街装飾灯の撤去への対応などがありますが、来年度は今年度と同数を計画しています。一方で、街路灯の改修は、来年度でセラメタ灯のLED化の完了を予定しているため、今年度より改修数の減少を見込んでいます。 事業コストの方向性は、改修数の減少により縮小が見込まれます。
II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
II. 事業の改善の方向性の理由	今後は、商店街の装飾灯撤去による新設要望の増加が見込まれるため、現場の状況に応じた柔軟な対応をしていきます。

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	民有灯の助成（維持補修）					款 05	項 03	目 04	事業 003	整理番号	396
現担当課名	杉並土木事務所					係名 街路灯係	連絡先	4636	昨年度 整理番号	405	
上位施策No・施策名	06 誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備						予算事業区分	既定事業			
事業開始	昭和46年度	分野	02	施策	06	計画事業					
令和6年度 担当課名	杉並土木事務所					事業評価区分	一般				

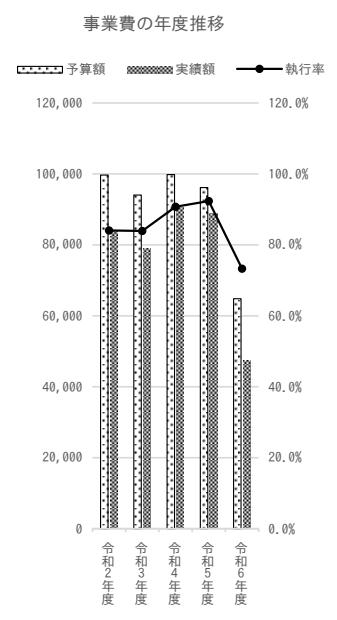
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 地方自治法第232条の2 杉並区民有灯の整備等に関する条例及び施行規則
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段） ○私道街路灯を適正な状態に維持管理することにより、私道の安全性を維持する。 ○町会や自治会等からの申請に基づき、助成として以下を行う。 1. 故障や破損した私道街路灯を修理する。 2. 老朽化した私道街路灯を塗装する。 3. 私道街路灯の電気料を支払う。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度				令和5年度			
				計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画	実績
	私道街路灯修理件数	私道街路灯の年間修理件数	件	585	586	100.0%	160	160	100.0%	-	-
	電気料助成灯数	私道街路灯の年間電気料金助成灯数	灯	299	169	56.2%	162	-	-	-	-
	私道街路灯修理率	年間で修理が発生した私道街路灯の割合 私道街路灯修理件数 ÷ 私道街路灯助成灯数 × 100	%	8,370	8,365	100.0%	8,378	8,368	100.0%	8,388	8,388
成果指標	行政サービス成果指標			7	7	100.0%	2	2	100.0%	-	-
	分類			4	2	50.0%	2	2	100.0%	-	-
	分類			57.1%	28.6%	50.0%	100.0%	-	-	-	-

事業費	人件費	財源	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
			千円	予算額	99,678	94,049	99,815	96,156	64,824	58,192
			千円	実績額	83,799	78,927	90,576	88,800	47,507	-
常勤職員分 (再任用含)	上記以外の職員		千円	予算額	84.1%	83.9%	90.7%	92.3%	73.3%	-
			千円	実績額	5,521	5,527	5,924	5,407	0	5,048
			千円	執行率	84.7%	96.6%	98.3%	102.2%	-	-
総事業費 (事業費+人件費)			千円	予算額	924	1,814	1,838	1,839	0	1,346
			千円	実績額	1,814	1,838	1,839	1,904	743	-
			千円	執行率	196.3%	101.3%	100.1%	103.5%	-	-
受益者負担分 ①	国・都からの 補助金 ②	その他の 補助金等 ③	千円	予算額	0	0	0	0	0	-
			千円	実績額	0	0	0	0	0	-
			千円	執行率	-	-	-	-	-	-
特定財源 (①+②+③)			千円	予算額	0	0	0	0	0	-
			千円	実績額	0	0	0	0	0	-
			千円	執行率	-	-	-	-	-	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)			千円	予算額	106,123	101,390	107,577	103,402	64,824	64,586
			千円	実績額	90,290	86,105	98,238	96,229	54,629	-
			千円	執行率	85.1%	84.9%	91.3%	93.1%	84.3%	-



特記事項

事業費は、LED化の進展により蛍光ランプ一斉取替の対象が減少したため、縮減となりました。執行率については、東京電力へ支払う電気料金の決定方法が、協議により金額を決定する方法から、実績値を基本とする算定方法へと変更となつたため、低くなりました。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	私道街路灯の故障修理委託	162	件	5,956
	電気料金の支出	8,512	灯	16,343
	民有灯の補修（蛍光ランプ等の一斉取替）	658	灯	14,036
	私道街路灯の維持補修工事（破損修理、ポール等の塗装）	207	件	11,172
	その他（）			0

取組成果	町会や自治会等からの申請に基づき、既設私道街路灯の予防保全として蛍光ランプ等の一斉取替を658灯、ポール等の塗装を142基行いました。また事後保全として、故障修理、破損修理を行いました。これらにより、年間を通じて私道街路灯の維持管理に取り組みました。
------	---

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	私道街路灯は約80%がLED化されていますが、区道街路灯に比べ進展は遅くなっています。このため不点灯など故障の発生が想定される蛍光灯器具が多く残っていることから、私道街路灯の安定した点灯のため、引き続き私道街路灯の維持補修に努めていく必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	故障や破損した私道街路灯の修理や、職員の日常巡回により事故の未然防止に取り組みました。また、既設街路灯の維持補修として、年度末までにポール等の塗装と蛍光ランプ等の一斉取替を行います。予算執行状況については、概ね予定通りに推移しており、年度末に向けて予算額の計画的な執行を見込んでいます。
事業の方向性・改善策	私道街路灯の故障については、LEDが長寿命であることから故障件数は減少が期待されるものの、LEDに比べ故障の発生が多く想定される蛍光灯器具も一定数残っています。また、外的要因による破損修理についても予想されるため、区道と同様に故障等が発生した際は、原因を調査するとともに、他自治体の事例等を参考にしながら速やかな対応に努めます。

令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	縮小
I. 事業コストの方向性の理由	LED化が進んだことから、来年度から蛍光ランプ等の一斉取替を廃止し、故障修理で対応していく予定です。さらに、LED灯具が長寿命であることから、故障修理は減少が見込まれます。一方で、破損修理やポール等の塗装については、今後の私道街路灯維持のために引き続き対応していきます。
II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
II. 事業の改善の方向性の理由	今後は、初期に設置されたLED灯具の故障発生や外的要因による破損修理が増加することが予想されるため、故障等の原因を調査し、他自治体の事例等を参考にしながら速やかな対応に努めます。

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	民有灯の助成（建設補助）					款 05	項 03	目 04	事業 004	整理番号	397
現担当課名	杉並土木事務所					係名 街路灯係	連絡先	4636	昨年度 整理番号	406	
上位施策No・施策名	06	誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備					予算事業区分		投資事業		
事業開始	昭和46年度	実行計画事業	分野	02	施策	06	計画事業	05			
令和6年度 担当課名	杉並土木事務所					事業評価区分		一般			

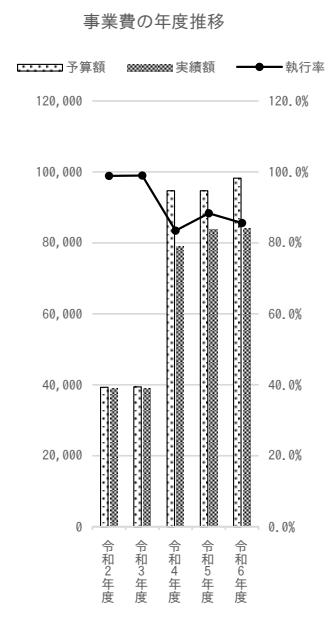
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 地方自治法第232条の2 杉並区民有灯の整備等に関する条例及び施行規則
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段） ○私道において街路灯の新設と既設街路灯の改修を行うことにより、私道の安全性を向上させる。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

	指標名	指標説明	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	私道街路灯新設数	私道街路灯の年間新設灯数	灯	計画	20	20	20
				実績	11	15	-
				達成率	55.0%	75.0%	65.0%
成果指標	私道街路灯器具改修数	私道街路灯のLED照明への年間改修灯数	灯	計画	1,090	1,090	1,090
				実績	906	844	-
				達成率	83.1%	77.4%	93.9%
分類	私道街路灯整備率	私道街路灯助成灯数×30(m)÷私道総延長(m)×100	%	計画	82.3	82.1	82.2
	行政サービス成果指標			実績	82	82	-
	私道街路灯L E D化率			達成率	99.6%	99.9%	99.8%
分類	行政サービス成果指標	L E D私道街路灯数÷私道街路灯助成灯数×100	%	計画	52.9	69.8	80.6
				実績	56.9	67.8	80.4
				達成率	107.6%	97.1%	99.8%

	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	千円	予算額	39,290	39,411	94,695	94,695	98,241
		実績額	38,849	39,009	79,019	83,652	84,094
		執行率	98.9%	99.0%	83.4%	88.3%	85.6%
人件費	千円	予算額	3,180	2,296	5,590	5,324	0
		実績額	1,871	2,253	5,573	5,441	9,611
		執行率	58.8%	98.1%	99.7%	102.2%	-
上記以外の職員	千円	予算額	616	0	0	0	2,322
		実績額	0	0	0	0	1,114
		執行率	0.0%	-	-	-	-
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	43,086	41,707	100,285	100,019	98,241
		実績額	40,720	41,262	84,592	89,093	94,819
		執行率	94.5%	98.9%	84.4%	89.1%	96.5%
財源	千円	受益者負担分 ①	0	0	0	0	0
		国・都からの 補助金 ②	0	0	0	0	0
		その他の 補助金等 ③	0	0	0	0	0
特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	43,086	41,707	100,285	100,019	98,241
		実績額	40,720	41,262	84,592	89,093	94,819
		執行率	94.5%	98.9%	84.4%	89.1%	96.5%



特記事項

執行率は私道街路灯器具改修工事の予定額と落札額に差があり、工事請負費に執行残が生じたため低くなりました。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	私道街路灯の新設	13	灯	4,440
	私道街路灯の改修	1,023	灯	79,654
	その他 ()			0

取組成果	私道街路灯の新設については、区民からの申請に基づき13灯の設置助成を行いました。私道街路灯整備率については、昨年度と同じ82%となりました。 私道街路灯の改修については、町会や自治会等からの申請に基づき1023灯のLED化を助成しました。その結果、LED化率は80%となりました。
------	---

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	私道街路灯の新設については、区民からの申請に速やかに対応していく必要があります。 私道街路灯の改修については、現在は蛍光灯からLED化を実施しております。物価高騰の影響により、令和6年度のLED化率は目標値の80.6%を下回る80.4%となりました。今後は実行計画に基づき、令和8年度の完了に向け、改修が必要な灯数を再度確認し、着実に工事を進めて参ります。
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	私道街路灯は申請に基づき新設を行っており、現時点では計画数の約2割の申請を受付ています。今後の新設数は、商店街装飾灯の撤去による新設により、増加する可能性もありますが、計画している灯数には満たないものと想定しています。 私道街路灯の改修については、今年度の発注工事で概ね計画している改修灯数を予定しており、LED化率も概ね計画通りとなる見込みです。 予算執行状況については、私道街路灯の新設数が予定より減少しますが、概ね計画している予算額の執行見込んでいます。
事業の方向性・改善策	私道街路灯の新設数については、区民からの申請に依存しますが、私道街路灯整備率をみると2割が未整備となっていることから、私道の安全性を向上させるためにも、商店街装飾灯の撤去などの機会を逃さずに、積極的に区民や町会等に設置に関する働きかけを行います。 私道街路灯の改修については、各現場に応じた適切な対応を行いつつ、LED街路灯への改修を引き続き進めます。

令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	縮小
I. 事業コストの方向性の理由	私道街路灯の新設は、区民からの要望に基づくため予測が難しい面がありますが、積極的に区民や町会等に働きかけを行うため、来年度は現年度と同じ計画数を見込んでいます。 私道街路灯の改修は、実行計画通り令和8年度末にLED化が完了する見込みです。来年度は、未改修の私道街路灯のLED化を行うため、今年度より改修数は減少を見込んでいます。 このため、事業コストの方向性は縮小が見込まれます。
II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
II. 事業の改善の方向性の理由	私道の安全性向上を図るため、積極的に区民や町会等に設置に関する働きかけを行い、私道街路灯の新設を実施します。

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	交通安全運動の推進					款 05	項 03	目 05	事業 001	整理番号	398	
現担当課名	都市整備部管理課					係名	交通企画係、自転車活用推進係		連絡先	3519	昨年度 整理番号	407
上位施策No・施策名	06	誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備					予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和40年度	実行計画事業	分野	02	施策	06	計画事業	03				
令和6年度 担当課名	都市整備部管理課					事業評価区分	一般					

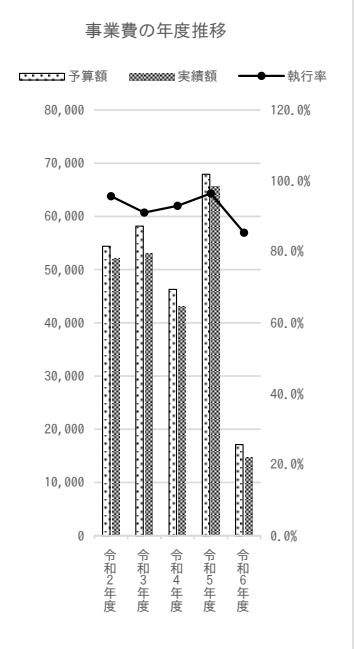
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等
○区民及び道路利用者、各署交通安全協会、杉並区交通安全協議会、各地域交通安全活動推進委員会	交通安全対策基本法 地方自治法第232条の2
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○区民及び道路利用者の交通安全意識を向上させることにより、交通事故発生件数を減少させる。 ○幅広い世代を対象として自転車安全利用講習会等を開催し、自転車関連事故の減少を図る。	○交通安全啓発活動および啓発用品の配布を行う。 ○交通安全協会等への補助金を交付する。 ○区立小学校において、自転車安全利用実技講習会を開催する。 ○区立中学校において、スマートマンによる交通事故再現型講習会を開催する。 ○民間事業所や幼稚園等において、出前型自転車安全利用講習会を開催する。 ○自転車ネットワーク路線の周知等、安全で快適な自転車利用環境を整備する。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度
				計画	実績			
成果指標	交通安全啓発活動を実施した回数	交通安全のつどい・街頭キャンペーン等	回	計画	0	0	25	70
				実績	82	48	75	-
				達成率	-	-	300.0%	-
成果指標	出前型自転車安全利用講習会の開催回数	出前型自転車安全利用講習会を開催した回数	回	計画	-	-	10	10
				実績	-	-	6	-
				達成率	-	-	60.0%	-
成果指標	交通事故件数	交通事故件数 杉並区の交通事故概要より	件	計画	804	787	841	790
				実績	893	1,021	1,034	-
				達成率	111.1%	129.7%	122.9%	-
成果指標	分類 社会成果（課題）指標	出前型自転車安全利用講習会の参加者数	人	計画	-	-	500	500
				実績	-	-	565	-
				達成率	-	-	113.0%	-
成果指標	分類 行政サービス成果指標							

	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
事業費	千円	予算額	54,389	58,173	46,285	67,923	17,119	19,488
		実績額	52,044	52,983	43,036	65,527	14,620	-
		執行率	95.7%	91.1%	93.0%	96.5%	85.4%	-
人件費	千円	予算額	15,831	13,860	10,429	10,643	13,069	28,235
		実績額	16,472	13,849	9,150	11,319	38,074	-
		執行率	104.0%	99.9%	87.7%	106.4%	291.3%	-
人件費	千円	予算額	3,080	3,628	5,513	3,678	1,142	4,643
		実績額	3,628	3,675	3,678	3,807	4,643	-
		執行率	117.8%	101.3%	66.7%	103.5%	406.6%	-
総事業費	千円	予算額	73,300	75,661	62,227	82,244	31,330	52,366
		実績額	72,144	70,507	55,864	80,653	57,337	-
		執行率	98.4%	93.2%	89.8%	98.1%	183.0%	-
財源	千円	受益者負担分①	0	0	0	0	0	-
		国・都からの補助金②	10,000	0	0	0	0	-
		その他の補助金等③	0	0	0	0	0	-
財源	千円	特定財源(①+②+③)	10,000	0	0	0	0	-
		差引：一般財源(総事業費-特定財源)	63,300	75,661	62,227	82,244	31,330	52,366
		執行率	97.0%	93.2%	89.8%	98.1%	183.0%	-



特記事項

組織改正に伴う所管事業の変更及び補助事業の終了に伴い、事業費が減っています。
実績による需要費減により、執行率が約85%となってています。

令和5年度より活動指標及び成果指標を変更しました。

外部評価委員会からの指摘等を踏まえ、令和6年度（令和7年度評価）から以下のとおり指標を変更しました。

活動指標：自転車安全利用講習会の開催回数→出前型自転車安全利用講習会の開催回数

成果指標：自転車関連事故件数（社会成果指標）→出前型自転車安全利用講習会の参加人数（行政サービス成果指標）

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	交通安全啓発活動	67	回	8,002
	区立小学校における自転車安全利用実技講習会	40	校	946
	スタントマンによる交通事故再現型講習会の開催	7	回	1,694
	自転車交通量調査委託	7	か所	2,777
	その他（交通安全啓発用品等の購入）			1,201
取組成果	<p>警察署、交通安全協会等と協力し、区内各所で交通安全啓発キャンペーンを実施しました。</p> <p>区立小学校40校の4年生を主な対象として、自転車安全利用実技講習会を開催しました（参加3,796人）。</p> <p>また、区立中学校7校の生徒を対象として、スタントマンによる交通事故再現型の自転車安全利用講習会を開催しました（参加2,513人）。そのほか、出前型自転車安全利用講習会を区内事業所や私立高校等で計6回開催しました（参加565人）。</p> <p>令和6年11月に2日間に渡り開催されたすぎなみフェスタでは、自転車シミュレーターを活用した自転車安全利用講習会や東京都自転車安全学習アプリの体験会を実施するなど、自転車の交通ルールの周知・啓発を行いました。</p> <p>自転車ネットワーク路線について、区民や警察等に意見聴取を行った上で、新たに55.0km（総延長108.7km）の路線を追加することとし、ネットワークを区内全域に拡充することを決定しました。</p>			

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	<p>近年、区内の自転車関与事故件数及び事故割合は共に上昇傾向にあります。</p> <p>(令和6年の自転車関与事故件数508件、自転車関与事故割合49.1%)</p> <p>自転車関与事故が多い要因は、自転車利用者に車道左側通行の原則や歩道は歩行者優先等の交通ルールが十分浸透していないことのほか、自転車の手軽さから交通ルールを遵守する意識が必ずしも高くないことが考えられます。今後は、区内で発生した自転車関与事故の実態を把握した上で、より実効性のある自転車の交通安全対策を実施していくことが課題です。また、区内全域に拡充することを決定した新たな自転車ネットワーク路線について、整備を所管し道路実態を把握している杉並土木事務所と連携を密に図りながら、効果的な整備を進めていく必要があります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	<p>交通事故防止に関する取組については、交通安全啓発活動の促進や反射材付きランドセルカバーの配布等の取組を継続しています。また、杉並区交通安全協議会について、事務局としての立場から運営の効率化を図りました。</p> <p>自転車の取組については、警察と連携して、区立小学校の半数以上となる22校で自転車安全利用実技講習会、区立中学校1校で交通事故再現型講習会を実施しました。また、実施希望があった私立高校の生徒410名や小学生及びその保護者11名を対象に出前型自転車安全利用講習会を実施しました。自転車に優しい運転を促すことを目的とした「区独自のドライバー向け路面標示の実証実験」について、10月の実施に向けて着実に準備を進めています。なお、当該実証実験は東海大学の協力を得て実施することになったため、調査研究委託費400万円余は執行残となる見込みです。</p>
事業の方向性・改善策	<p>杉並区交通安全協議会の運営の効率化について令和8年度の施行に向け準備とともに、第12次杉並区交通安全計画の策定に向けた検討を実施します。</p> <p>区が実施している各自転車安全講習会は、自転車の交通安全教育のあり方を検討している国の「自転車の交通安全教育の充実化に向けた官民連携協議会」（以下「官民連携協議会」という。）の動向を注視し、改善・見直しを検討していきます。</p>

令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	縮小
I. 事業コストの方向性の理由	「区独自のドライバー向け路面標示の実証実験」は民間事業者への委託により実施する予定でしたが、東海大学との協働による実験の実施の見通しが立ったため、調査研究に関する委託費用を削減する見込みです。
II. 事業の改善の方向性	現状維持
II. 事業の改善の方向性の理由	交通事故防止に関する取組については、これまでの交通安全啓発活動の促進や反射材付きランドセルカバーの配布等の取組を継続します。 自転車の安全利用に関しては、官民連携協議会が年内に公表する予定である「自転車の交通安全教育ガイドライン」の内容を踏まえ、警察との連携を密に図りつつ、より効果的かつ効率的な講習会の実施方法等を検討します。

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	交通安全施設の維持補修					款 05	項 03	目 05	事業 002	整理番号	399
現担当課名	杉並土木事務所					係名 管理係	連絡先 内線番号4632	昨年度 整理番号	408		
上位施策No・施策名	06 誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備	予算事業区分	既定事業								
事業開始	昭和36年度	分野 02	施策 06	計画事業							
令和6年度 担当課名	杉並土木事務所					事業評価区分	一般				

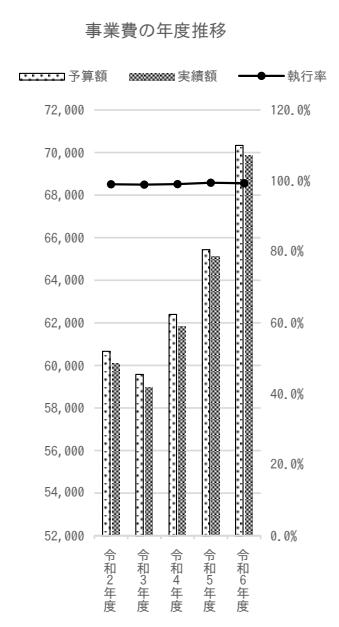
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 地方自治法第281条 道路法第85条
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段) ○交通安全施設の機能保持のため、施設の維持管理及び補修を行い、道路利用者の安全を確保する。 ○老朽化及び車両衝突等により破損した交通安全施設の補修を行う。 ○自発光式交差点録(太陽電池式・配電式)の清掃を行うとともに配電式の電気料金を支払う。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	交通安全施設の補修件数		件	500	500	500	500	-	-	-	-
				461	410	407	-	-	-	-	-
				達成率	92.2%	82.0%	81.4%	-	-	-	-
				計画	-	-	-	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-	-	-	-
				達成率	-	-	-	-	-	-	-
	「交通の安全性が良い」と思っている人の割合	区民意向調査による	%	計画	-	-	80	80	-	-	-
				実績	-	-	75.8	-	-	-	-
				達成率	-	-	94.8%	-	-	-	-
	分類 区民満足度指標			計画	-	-	-	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-	-	-	-
				達成率	-	-	-	-	-	-	-
	分類										

事業費	人件費	財源	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
			千円	予算額	50,661	59,576	62,394	65,437	70,335	70,729
			千円	実績額	60,089	58,954	61,833	65,102	69,872	-
常勤職員分(再任用含)	上記以外の職員		千円	執行率	99.1%	99.0%	99.1%	99.5%	99.3%	-
			千円	予算額	12,641	14,200	14,016	11,645	0	6,655
			千円	実績額	12,925	14,183	12,311	12,389	8,843	-
(事業費+人件費)			千円	執行率	102.2%	99.9%	87.8%	106.4%	-	-
			千円	予算額	0	0	919	0	0	789
			千円	実績額	0	0	1,839	0	789	-
			千円	執行率	-	-	200.1%	-	-	-
			千円	予算額	73,302	73,776	77,329	77,082	70,335	78,173
			千円	実績額	73,014	73,137	75,983	77,491	79,504	-
			千円	執行率	99.6%	99.1%	98.3%	100.5%	113.0%	-
			千円	受益者負担分①	0	0	0	0	0	0
			千円	国・都からの補助金②	0	0	0	0	0	0
			千円	その他の補助金等③	0	0	0	0	0	-
			千円	特定財源①+②+③	0	0	0	0	0	-
			千円	差引：一般財源(総事業費-特定財源)	73,302	73,776	77,329	77,082	70,335	78,173
			千円	予算額	73,014	73,137	75,983	77,491	79,504	-
			千円	実績額	99.6%	99.1%	98.3%	100.5%	113.0%	-
			千円	執行率	-	-	-	-	-	-



特記事項

成果指標（1）を「交通事故の減少件数」から「交通の安全性が良い」と思っている人の割合」へ変更しました。そのため、変更した成果指標（1）の令和4～5年度の計画値および実績値は空欄にしています。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	道路附属物補修（道路反射鏡、防護柵、標識ほか）	407	件	66,491
	自発光式交差点鉢ランプ取替及び清掃	769	基	2,007
	その他（維持管理用品費ほか）		）	1,374

取組成果	区民等からの要望に加え、令和6年7月から本格運用を開始した道路損傷等投稿アプリ「マイシティレポート」や施設故障修理自動応答システム（AIコンシェルジュ）等へ寄せられる通報により、交通安全施設の適正管理に努めました。 また、区内小学校において、学校、PTA、警察と合同で通学路点検を実施し、薄くなつた道路の白線やすべり止め舗装の補修のほか、老朽化した路面スラッカの貼り替えを行いました。自発光式交差点鉢については、全箇所の点検と清掃を実施することで、健全な状態を維持しました。
------	--

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	交通安全施設の破損に起因する交通事故を未然に防ぐため、引き続き、職員や日常保全業務委託による巡回に加え、道路損傷等投稿アプリ「マイシティレポート」等へ寄せられる区民からの通報により、交通安全施設の現状を把握し、補修を要するものについては早急に対応していく必要があります。 また、区内小学校の通学路については、学校、PTA、警察と合同で通学路点検を実施しながら、児童が安全に安心して学校に通えるよう、交通安全対策を継続して行っていく必要があります。 見通しの悪い交差点などに設置している道路反射鏡の鏡面が老朽化により破損している場合があることから、耐久性に優れているステンレス面に変更し、より一層歩行者などの道路利用者に対する安全性を確保する必要があります。 交通安全施設の補修件数が徐々に減っている近年の現状を維持しつつ、今後も交通安全対策を進めていくとともに耐久性に優れた部材を使用し、交通安全施設の補修件数を減少させていく必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	職員や日常保全業務委託による巡回に加え、道路損傷等投稿アプリ「マイシティレポート」等で寄せられる通報を活用し、道路反射鏡や防護柵などの損傷箇所を迅速に把握したうえで順次補修を行っています。区立小学校の通学路では、学校、PTA、警察との合同点検を行い、車のドライバーに注意喚起を促すため交差点などの路面に設置しているすべり止め舗装（カラー舗装）の補修や、歩行者が歩く路側帯内のカラー化などの安全対策を実施しました。また、道路反射鏡は改修に合わせて耐久性の高いステンレス面へ部材を更新し、安全性と維持管理の効率性を向上させているほか、夜間に点滅する自発光式道路鉢は全箇所の点検と清掃を実施しました。今後も、通学路点検や各交通安全施設の補修を進めることから、予算は概ね計画どおり執行する見込みです。
事業の方向性・改善策	今後も交通安全施設の迅速な補修を実施するため、施設の補修履歴を分析し、計画的な更新と予防保全型の維持管理を進めるほか、耐久性の高い部材の導入を継続していくことで、補修件数の抑制を図っていきます。併せて、道路損傷等投稿アプリ「マイシティレポート」等の通報システムをより一層区民に周知することで、区民と行政が連携した監視体制を構築し、安全な道路空間の確保に努めます。

令和8年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	今後も交通事故や老朽化等による施設の破損については迅速に対応することで、道路利用者の安全を確保していく必要があります。また、施設を補修する際は、耐久性に優れた部材への更新を行うことで、長期的な維持管理費の抑制を図ります。自発光式道路鉢については、年1回の点検及び清掃を継続することで、健全性の確保に努めます。
II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
II. 事業の改善の方向性の理由	施設の補修履歴を分析する予防保全型の維持管理や道路損傷等投稿アプリ「マイシティレポート」等を活用することで、迅速な補修を実施しつつ、計画的に交通安全施設を維持管理していきます。

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	交通安全施設の整備					款 05	項 03	目 05	事業 003	整理番号	400
現担当課名	杉並土木事務所					係名	管理係			連絡先	内線番号4632
上位施策No・施策名	06	誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備					電話番号	昨年度 整理番号			409
事業開始	昭和36年度	実行計画事業	分野	02	施策	06	計画事業	04		予算事業区分	投資事業
令和6年度 担当課名	杉並土木事務所					事業評価区分	一般				

令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

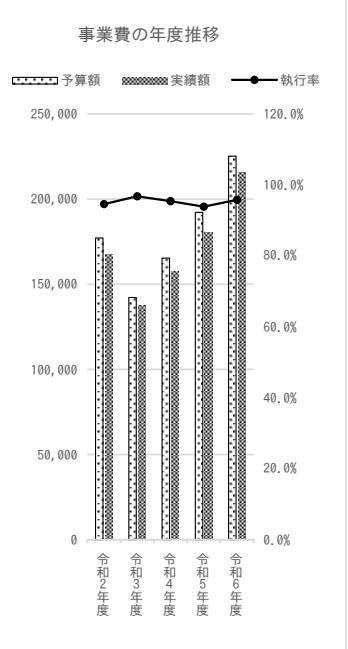
対象	根拠法令等 地方自治法第281条 道路法第45条、第85条
区が管理する道路の利用者	

事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段) ○交通安全施設を整備・拡充することにより、交通事故の防止及び減少を図る。 ○安全で快適な自転車利用環境をつくるため、自転車通行空間を整備する。
-----------------------------	---

指標、総事業費 (P l a n · D o)

指標名		指標説明		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	道路反射鏡の整備数	道路反射鏡の新設・改良数	基	計画	118	118	118	118
				実績	96	95	94	-
				達成率	81.4%	80.5%	79.7%	-
成果指標	自転車通行空間の整備延長	自転車通行空間を新規に設置した延長	m	計画	-	-	8,000	8,000
				実績	-	-	7,000	-
				達成率	-	-	87.5%	-
成果指標	「交通の安全性が良い」と思っている人の割合	区民意向調査による	%	計画	-	-	80	80
	分類 区民満足度指標			実績	-	-	75.8	-
	分類			達成率	-	-	94.8%	-

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	千円	予算額	177,172	142,233	165,364	192,215	225,235	248,411
		実績額	167,591	137,680	157,785	180,431	215,795	-
		執行率	94.6%	96.8%	95.4%	93.9%	95.8%	-
人件費	千円	予算額	36,964	38,835	42,254	36,678	0	23,351
		実績額	37,668	38,750	37,588	39,060	28,772	-
		執行率	101.9%	99.8%	89.0%	106.5%	-	-
上記以外の職員	千円	予算額	0	0	919	0	0	2,693
		実績額	0	0	1,839	0	2,600	-
		執行率	-	-	200.1%	-	-	-
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	214,136	181,068	208,537	228,893	225,235	274,455
		実績額	205,259	176,430	197,212	219,491	247,167	-
		執行率	95.9%	97.4%	94.6%	95.9%	109.7%	-
財源	千円	受益者負担分①	0	0	0	0	0	0
		国・都からの補助金②	0	0	0	0	0	0
		その他の補助金等③	0	0	0	0	0	-
特定財源	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
差引：一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	214,136	181,068	208,537	228,893	225,235	274,455
		実績額	205,259	176,430	197,212	219,491	247,167	-
		執行率	95.9%	97.4%	94.6%	95.9%	109.7%	-



特記事項
活動指標(2)を「視覚障害者認導用ブロックの新設・改良数」から「自転車走行空間の整備延長」へ変更しました。また、成果指標(1)「道路反射鏡新設箇所」と成果指標(2)「駅周辺でハリアフリーが行き届いていると感じる区民割合」を、成果指標(1)「交通の安全性が良い」と思っている人の割合に変更しました。それに伴い、変更した指標における令和4～5年度の計画値および実績値を空欄にしています。
令和6年度の事業費が増加した理由は、自転車走行空間の整備費が増加したためです。道路反射鏡の新規設置要望が減少したことや、隣接にお住いの方から了承が得られずに設置できない箇所があったことから、活動指標の「道路反射鏡の整備数」の達成率が低くなっています。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	道路反射鏡新設・改良	94	基	46,586
	自転車通行空間整備	7,000	m	45,778
	自発光式交差点鉢新設・改良	35	基	8,082
	道路案内標識改良	1	基	5,683
	その他（すべり止め舗装新設・改良ほか）			109,666

取組成果	道路附属物維持管理指針に基づき、道路反射鏡（80基）及び道路案内標識（1基）、地点名標識（8枚）の計画的な更新を行ったほか、案内標識等の改修に併せて外国人にも分かりやすい表示とするため英語併記化を実施しました。 杉並区自転車活用推進計画に基づき、7,000m（13路線）に自転車ナビマークを169個、自転車ナビラインを1,032個設置し、安全で快適な自転車通行空間の拡充を図りました。
------	---

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	道路附属物の中でも道路反射鏡と道路標識については、支柱劣化等に伴う倒壊の危険性があることから、道路附属物維持管理指針（道路標識編）を平成26年8月、道路附属物維持管理指針（道路反射鏡編）を平成28年3月に策定し、計画的な更新を行っていくことで予防保全型の維持管理を行っています。 また、近年は道路反射鏡の新設要望が減少傾向にあることや、隣接にお住いの方から了承が得られずに設置できない箇所があるなど、当初想定していた設置基数に満たない状況が続いている一方で、電動キックボードなど、新たなモビリティの普及により交通状況が変化していることから、これまで以上に交差点等の見通しを確保していく必要があります。 近年、自転車関連事故は約5割と高止まりしています。また、令和5年度に実施した区政モニターアンケートでは、「杉並区は、自転車に乗りやすいまちだと思う」と回答した区民は、約3人に1にとどまっています。そのため、令和6年度から自転車通行空間の整備を加速化しましたが、対象路線において水道管等の道路埋設物の工事等と重なる場合があり、円滑かつ効果的な整備計画の立案及び整備実施が課題となっています。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	道路附属物維持管理指針に基づき、道路反射鏡や道路標識の計画的な更新を行っているほか、杉並区自転車活用推進計画に基づき、自転車通行空間の整備を進めています。併せて、交差点における見通し確保を図るために道路反射鏡の新規設置や、車道への横断防止と車から歩行者を守るため防護柵の新規設置及び更新を進めているほか、通行の際に注意を要する交差点などの路面に設置しているすべり止め舗装（カラー舗装）や、薄くなつた区画線（白線）の更新を計画的に進めています。 年度末に向け、上記の取組を着実に実施していくことから、予算は概ね計画どおり執行する見込みです。
事業の方向性・改善策	道路反射鏡や道路標識については、支柱劣化等による倒壊などを未然に防ぎ、道路利用者が安全で安心して通行できる道路空間を確保する必要があることから、引き続き、道路附属物維持管理指針に基づいた計画的な更新を進めています。また、自転車利用環境の安全性及び快適性の向上を図るために、自転車活用推進計画に基づく自転車通行空間整備を着実に進めます。その他、道路反射鏡や防護柵などの道路附属物については、新たなモビリティの普及や交通状況の変化を見据え、効果的で効率的な整備を進めていくとともに、すべり止め舗装（カラー舗装）や区画線（白線）などの更新を計画的に実施していきます。

令和8年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	道路附属物維持管理指針等に基づき、計画的かつ効率的に整備を進めていくことで、より一層の交通安全向上を図ります。また、整備にあたっては、耐久性に優れた部材への更新を行うことで、長期的な維持管理費の抑制を図ります。
II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
II. 事業の改善の方向性の理由	新たなモビリティの普及に伴う交通環境の変化などにも柔軟に対応した交通安全対策を講じていくとともに、工事の際は施工方法等を工夫し、関係機関と連携しながら整備の効率化と質向上を図ります。

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	南北バスの運行					款 05	項 03	目 05	事業 004	整理番号	401
現担当課名	都市整備部管理課					係名 交通企画係	連絡先 電話番号	3515	昨年度 整理番号	410	
上位施策No・施策名	06 誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備					予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成12年度	分野	02	施策	06	計画事業					
令和6年度 担当課名	都市整備部管理課					事業評価区分	一般				

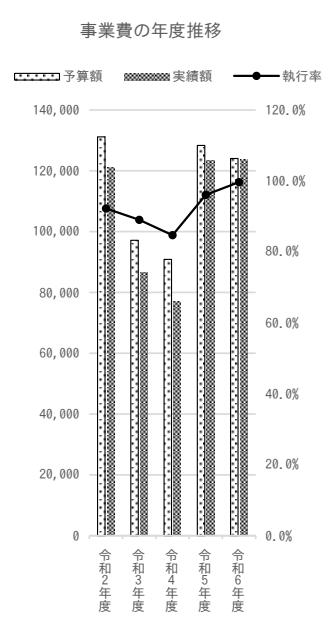
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 杉並区南北バス運行協定書 道路運送法
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段) ○南北バス「すぎ丸」の魅力を高めるため、運行環境等を整備する。 ○南北バス「すぎ丸」の利用促進を図る。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度				令和7年度
				計画	実績	令和5年度	令和6年度	
モビリティ・マネジメントの実施に伴うすぎ丸の啓発活動実施回数	南北バス「すぎ丸」運行本数	3路線（けやき路線・さくら路線・かえで路線）の年間運行本数の合計	本	計画	79,364	79,400	79,110	79,780
				実績	79,316	79,461	80,384	-
				達成率	99.9%	100.1%	101.6%	-
南北バス「すぎ丸」年度総利用者数	モビリティ・マネジメントの実施に伴うすぎ丸の啓発活動実施回数	公共交通の利用促進に向けた普及啓発活動実施回数（すぎ丸の日・小学校等での交通環境学習等）	回	計画	0	0	4	4
				実績	0	3	2	-
				達成率	-	-	50.0%	-
南北バス「すぎ丸」の収支率	南北バス「すぎ丸」年度総利用者数	運行事業者の決算資料による	人	計画	1,190,000	1,160,209	1,160,209	1,160,209
				実績	1,021,539	1,079,798	1,155,852	-
				達成率	85.8%	93.1%	99.6%	-
南北バス「すぎ丸」の収支率	分類 行政サービス成果指標		%	計画	74.4	74.4	74.4	-
				実績	68	64.5	55.3	-
				達成率	91.4%	86.7%	74.3%	-

	単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額
事業費	千円	131,154	97,141	90,861	128,340	124,043	0	128,340	124,043	124,043	124,043	124,043	124,043
人件費	千円	120,975	86,486	76,965	123,306	123,620	-	123,306	123,620	123,620	123,620	123,620	123,620
常勤職員分(再任用含)	千円	92.2%	89.0%	84.7%	96.1%	99.7%	-	96.1%	99.7%	99.7%	99.7%	99.7%	99.7%
上記以外の職員	千円	10,462	6,802	8,343	8,318	12,557	15,401	8,318	12,557	12,557	12,557	12,557	12,557
総事業費(事業費+人件費)	千円	11,479	19,022	10,231	11,217	18,738	-	11,217	18,738	18,738	18,738	18,738	18,738
予算額	千円	109.7%	279.7%	122.6%	134.9%	149.2%	-	134.9%	149.2%	149.2%	149.2%	149.2%	149.2%
実績額	千円	0	0	1,838	1,839	1,142	1,393	1,839	1,142	1,142	1,393	1,393	1,393
執行率	千円	-	-	100.1%	103.5%	122.0%	-	103.5%	122.0%	122.0%	122.0%	122.0%	122.0%
受益者負担分①	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国・都からの補助金②	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の補助金等③	千円	4,148	4,365	0	4,465	100	100	4,465	100	100	100	100	100
特定財源(①+②+③)	千円	4,148	4,365	0	4,468	98	-	4,468	98	98	-	-	-
差引：一般財源(総事業費-特定財源)	千円	137,468	99,578	101,042	114,199	137,642	16,694	114,199	137,642	137,642	16,694	16,694	16,694
実績額	千円	122,837	101,143	89,035	111,293	143,653	-	111,293	143,653	143,653	-	-	-
執行率	千円	89.4%	101.6%	88.1%	97.5%	104.4%	-	97.5%	104.4%	104.4%	-	-	-



特記事項

令和5年度から活動指標を追加しています。
また、追加した指標については令和5年3月に策定された杉並区地域公共交通計画に基づく取組であるため、数値の記載は令和5年度からとなっています。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	既存路線の運行（運行経費）	3	路線	116,383
	既存路線の運行（啓発・PR）	3	路線	251
	敷地賃借料	2	カ所	6,053
	その他（バス停修繕等）)	933

取組成果	杉並区地域公共交通計画に位置付けた施策「すぎ丸の魅力を高めるための再設計」に基づき、例年11月の最終日曜日に開催する「すぎ丸の日」や、「モビリティイーク2024」を活用した普及啓発活動などの取組を実施しました。また、すぎ丸の運行経費について、運転士不足から民間路線バスの減便等を行っている運行事業者と協議を重ね、これまで区が補助していなかった人材確保等に要する間接経費も補正予算により追加で計上し、すぎ丸の運行維持に努めました。
------	--

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	利用者数はコロナ禍前の9割程度まで回復しましたが、人件費を含む運行経費が増加したため、補助金額も増加しました。今後は、より効率的な運行ができるよう運行計画等の見直しが必要です。また、バスの運転士不足により、民間バス路線では減便や廃路線が実施されています。この現状を踏まえ、地域交通を維持・発展させるため、イベント等における運転士募集を支援する取組に加え、様々な関係者が知恵を出し合い、地域交通やすぎ丸の維持・拡充に向けた検討をする必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	南北バス「すぎ丸」の利用促進のため、継続してバスアクセスマップを転入者向けに配布しているほか、「すぎ丸の日」や「モビリティイーク2025」に伴い、公共交通のメリット等を伝えるとともにすぎ丸をより身近に感じてもらうことですぎ丸の利用促進を図る活動を実施していきます。また、南北バス「すぎ丸」の維持・拡充を目的に「南北バスすぎ丸あり方検討部会」を令和7年4月と7月に開催しました。今後も運行ルート、運行方法及び事業形態等について、区民や運行事業者等とともに検討を深めます。さらに、バス運転士不足に対する支援として、区ホームページにおけるバス事業者の採用情報の掲載等を行っています。
事業の方向性・改善策	南北バス「すぎ丸」の維持・拡充のために、引き続き「南北バスすぎ丸あり方検討部会」等において運転士不足、バスの走行環境の改善、運行方式の検討等、具体的な課題への対応を行っていきます。

令和8年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	拡充
I. 事業コストの方向性の理由	物価高騰や人件費の上昇等に伴い、運行経費、車両の更新のための費用等の増加が見込まれるため、事業コストは拡充する見込みです。
II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
II. 事業の改善の方向性の理由	今後もすぎ丸の持続可能な運行ができるよう、「南北バスすぎ丸あり方検討部会」において運行ルートや運行方法、料金等の検討を行っていきます。

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	通学路の設置管理					款 07	項 01	目 03	事業 004	整理番号	450
現担当課名	学務課					係名	学事係			連絡先	1623
上位施策No・施策名	06	誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備					電話番号	昨年度 整理番号			459
事業開始	昭和38年度		分野	02	施策	06	計画事業	予算事業区分			
令和6年度 担当課名	学務課					事業評価区分	一般				

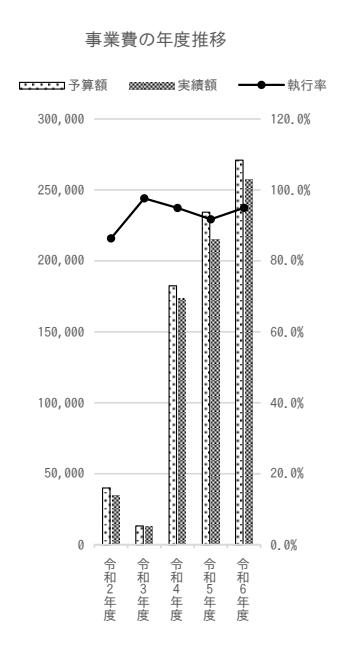
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等
区立小学校児童	交通安全対策基本法第4条 交通安全施設等整備事業の推進に関する法律、同施行令
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○児童を交通事故や犯罪から守り、登下校時並びに地域における安全を実現する。	○区立小学校に通う児童が安全な登下校ができるように、通学の案内及び交通指導を行う。 ○安全性が高いと判断される道路を登下校時の通学路に指定し、関連部署とともに実施点検や安全対策管理を行う。 ○児童が安全に通行できるよう、電柱に「文」標識を取り付け、通学路であることを周知する。 ○子ども安全ボランティア活動や学校安全マップ作成を支援する。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

指標名		指標説明		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
活動指標	通学案内等実施地点数	児童が安全に登下校できるよう、通学の案内及び交通指導を実施する地点		組	計画	168	171	175	178
					実績	171	175	178	-
					達成率	101.8%	102.3%	101.7%	-
成果指標	通学路点検実施校数	学校、PTA、警察、道路管理者と協力し、通学路の安全点検を実施した学校数		校	計画	10	9	10	10
					実績	10	9	10	-
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-
分類 社会成果（課題）指標	登下校時に交通事故に遭った児童数			人	計画	0	0	0	0
					実績	9	10	7	-
					達成率	-	-	-	-
分類 社会成果（課題）指標	子ども安全ボランティア数	児童の登下校時の安全や放課後の見守りなどのため活動しているPTAその他のボランティア		人	計画	14,017	14,168	12,973	9,603
					実績	14,017	14,168	12,973	-
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	千円	予算額	39,961	13,199	182,442	234,300	270,991	309,159
		実績額	34,505	12,886	173,166	214,911	257,291	-
		執行率	86.3%	97.6%	94.9%	91.7%	94.9%	-
人件費	千円	予算額	10,723	3,741	4,422	4,325	4,353	6,503
		実績額	8,248	3,504	3,410	3,516	5,476	-
		執行率	76.9%	93.7%	77.1%	81.3%	125.8%	-
上記以外の職員	千円	予算額	0	363	0	368	761	0
		実績額	0	0	368	381	464	-
		執行率	-	0.0%	-	103.5%	61.0%	-
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	50,684	17,303	186,864	238,993	276,105	315,662
		実績額	42,753	16,390	176,944	218,808	263,231	-
		執行率	84.4%	94.7%	94.7%	91.6%	95.3%	-
財源	千円	受益者負担分 ①	0	0	0	0	0	0
		国・都からの補助金 ②	12,000	0	0	1,702	0	0
		その他の補助金等 ③	0	0	0	0	0	-
特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	12,000	0	0	1,702	0	0
		実績額	11,786	0	0	34	0	-
		執行率	98.2%	-	-	2.0%	-	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	38,684	17,303	186,864	237,291	276,105	315,662
		実績額	30,967	16,390	176,944	218,774	263,231	-
		執行率	80.1%	94.7%	94.7%	92.2%	95.3%	-



特記事項

○令和4年度から通学案内及び交通指導に係る事業が移管されたことから、事業費が大幅に増加しています。
○令和5年度に比して事業費が増加した主な理由は、令和5年度2学期から富士見丘小学校スクールバス事業の運行が始まり、その費用の増加と通学路防犯カメラの耐用年数経過による入替え等を行つたことによるものです。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	通学案内及び交通指導等業務委託	178	所	178,463
	スクールバスの運行			35,938
	通学路防犯カメラ整備（保守点検委託、電気料金等）	294	台	23,068
	通学路標識の取替等	1,557	組	18,157
	その他（学校安全マップの作成、通学路線図の作成等）)	1,665

取組成果	区立小学校児童の登下校に係る通学路において、要所に安全な道路の横断を促す等の通学案内及び交通指導業務を委託し、児童の事故防止を図りました。杉並区教育ビジョン2022推進計画に基づき、学校、PTA、警察、道路管理者と協力し、通学路における合同点検を10校で実施し、必要な対応を行いました。 富士見丘小学校の学区域の一部に居住する3年生までの児童26人を対象に、スクールバスを試行実施しました。
------	--

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	区立小学校に通う児童が安全に登下校できる環境を整えていくため、通学路案内・交通指導については、必要に応じて学校等と調整の上、案内・指導場所の見直しや追加配置を行う必要があります。 通学路標識（文マーク）は、数が膨大であるほか、標識ごとに劣化状態が異なる中においても、通学路であることの周知を確実に行えるよう、設置経過年数に応じて計画的な取り換えを進める必要があります。 さらに、PTAや学校等が作成する「学校安全マップ」や、PTA、学校のほか警察等と共同で行う「通学路における合同点検」等を通じて、地域の協力を得ながら通学路の安全性を高める必要があります。 富士見丘小学校の移転に伴い、令和5年度2学期から特定地域在住の第1学年から第3学年までの児童を対象に、登下校のためのスクールバスの運行を試行的に行い、令和6年4月からは学童クラブ用送迎バスの試行運行も開始しました。令和8年度には利用状況等の検証を行い、本格導入の可否を検討・決定することとしており、令和7年度から検証方法や検討に必要なデータ収集等を行う必要があります。（学童クラブ用送迎バスの経費は「学童クラブ事業」に計上されています。）
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	通学案内及び交通指導等の実施箇所は、昨年度から1所増の179か所で実施しています。通学路の合同安全点検は、今年度10校で予定しており、8月末時点で3校で実施し、必要な対応を図っています。通学路防犯カメラは、耐用年数を経過した54台について、年内にリースに入れ替えるための準備を進めています。通学路標識は、老朽化した標識の取替に向けて調査しているところです。また、富士見丘小スクールバスは、学童クラブ用送迎バスとともに試行運行を行なながら、令和8年度に行う予定の検証に向けて準備を進めています。 現時点で概ね計画どおり予算を執行しています。引き続き、通学案内及び交通指導員の増員など必要に応じて対応していきます。
事業の方向性・改善策	通学案内及び交通指導等業務は、登下校時の交通事故を未然に防ぎ、公道における適切な行動の指導を行うなど、安心して通学できる環境整備において、最も重要な事業であることから、実施場所ごとの優先度を踏まえつつ、必要な箇所について対応していく必要があります。 杉並区教育ビジョン2022推進計画に基づき、引き続き、通学路の合同安全点検を毎年度10校実施するとともに、耐用年数との関係から通学路防犯カメラや通学路標識の計画的な入替、取替を行うことにより、通学路の安全対策に努めます。 各校で作成している学校安全マップについては、効率的で効果的な活用方法等を検討し、児童への安全指導に引き続き活用していきます。

令和8年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	その他
I. 事業コストの方向性の理由	通学案内及び交通指導等業務は、教育活動が行われる日数や、増設要請に対応できるようこれまでの実績を踏まえて予算を計上する必要があります。通学路防犯カメラは、令和5年度以降にリースに入れ替えた運用保守のほか、入替までの間に故障等により即時に交換する必要が生じた場合の費用を計上しておく必要があります。 通学路標識の取替は、件数が減少する見込みです。 概ね令和7年度と同様の事業規模を見込んでいますが、人件費やバス運行費の高騰により、通学案内及び交通指導等業務委託やスクールバス運行の委託費が増加する見込みです。
II. 事業の改善の方向性	現状維持
II. 事業の改善の方向性の理由	交通事故や犯罪から児童を守り、安全で安心して通学できる環境を整備するため、引き続き、登下校時の安全対策を推進してまいります。